

# マネ協

題字 杉本 子

◆ 発行 ◆

Vol.19

日本芸能マネージメント事業者協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿

1-29-5 グランドメゾン新宿東210

TEL. 03 (3225) 5984

FAX. 03 (3225) 5949

E-mail: manekyo@nifty.com

http://www.manekyo.com

発行日 平成16年12月15日

編集者 久保 進

印刷 松田 咲 貴

企画 谷本 企

## M A N A G E M E N T R E P O R T

### マネ協創立35周年に記念すべき マネ協法人化について

マネ協法人化推進担当理事 亀井 俊 夫

平成十七年二月にマネ協の法人化が実現する運びとなりました。マネ協にとつて来年は創立三十五周年を迎えます。創立三十五周年に花を添える快挙と言ふべきでしょう。

本当に運が良かったのだと思います。念願のマネ協法人化の為に、これまで梅田前理事長をはじめ理事会は、NPO法人など様々な案を模索してきました。丁度その時、平成14年4月1日施行の中間法人法という法律が出来たのです。関連団体の音声連がいち早く昨年4月に中間法人として法人化を成し遂げました。そこで私達も中間法人法に基づくマネ協法人化を目指したのです。

平成16年4月22日マネ協第14回定時総会に於いて、マネ協法人化が決議され、定款及び社員規定、共済規定が承認されました。

法人化の最大メリットは何よりも、法人格を持つ事による社会的な信用です。団体契約の法的な当事者になる事ができるのです。

今後はNHK、民放局や音声連、芸能文化諸団体との団体契約を結ぶ事が出来るようになります。

新理事会は総会で承認されたマネ協法人化の具体的手続きの作業を押し進めてきました。

①11月2日に、公証人による定款認証を受けました。

②法人成立前に社員総会(現役員16

社)を行い理事及び監事を選出(現マネ協の役員継承)します。

現在のマネ協会員116社全てが「設立時の社員」となるのは、定款への社印捺印など物理的な問題があるので、理事及び監事16社によって設立し、登記完了後、残り100社が加入という事になります。

③基金の拠出(総額300万円)は、多くの会員の皆様の御協力を得まして到達しました。12月銀行振込みになります。

④理事及び監事による、基金などの設立手続きの調査(来年1月)。登記は、後2週間以内になります。

⑤理事長(申請人)による登記申請。及び事務署などへの手続き(来年1月)。

⑥登記完了後、残りの社員(100社)の入社となります。

⑦「有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会」への移行完了となります。

マネ協に関わった多くの諸先輩の夢であった法人化、汗と努力の結晶。思い起こせば、昭和45年日本芸能マネージャー協会(個人参加)が産声をあげて、平成2年日本芸能マネージメント事業者協会(事業者会員)となり、平成17年、マネ協創立35周年の節目の年に、マネ協法人化が実現することは、マネージャーの社会的職能的な地位向上を目指す上でも、所属する俳優を擁護し出演の諸条件を向上させる上でも、歴史的な大事業の第一歩であり、スタ

ートラインによりやく立ち得たということでありましょう。

これでマネ協も社会的に認知された存在となり新たな出発点となります。

私たちがマネ協を取り巻く環境は、ニューメディアの発達と共に、業界の様々なルール作りが迫られています。

また映像関係では、同じテレビドラマ作品にも拘らず、局制作の作品は二次使用料が発生しますが、下請け制作会社の作品は買い取りシステムで二次使用料をもらうことが出来ないというワンチャンス主義となっており、大きな問題となっています。

マネージャー個々では、声をあげることがなかなか出来ません。俳優個々では、声をあげることがなかなか出来ません。そのため法人化したマネ協でありましょう。

マネ協は、マネ協会員事業者に所属する6千名の俳優やマネージャーの声を取り上げて社会的に認知された団体として、ようやく組織として物を言う時期になったと言えるでしょう。

業界の繁栄のため、共存共栄の精神で、業界の健全なルール作りをする必要が有ります。マネ協が積極的な役割を担うことが求められています。

法人化したマネ協が取り組むべき課題としては

①NHK、民放四社、CXとの団体契約。特に、民放下請け制作会社作品の諸問題を解決するために粘り強い交渉が必要で。

②音声連との団体契約(外面動画部門)。

③ATP、映連など制作会社との団体契約。現行の買い取りシステムから出演諸条件の契約改善の交渉の開始。

④日併連との団体協約。

日併連とマネ協での共通の認識作り、連携、協力、パートナーシップが求められています。

出演の諸条件、俳優やマネージャーの移籍など様々な問題を解決するルール作りが必要で。

⑤著作権法の改正を目指す。

明治37年に制定した著作権法を昭和46年に新著作権法が出来てから35年経ち、ニューメディアの発達で、想定をしていない事態がたくさん起こり、ビデオ、衛星、CS、インターネット、携帯電話テレビ、海外番組など、二次使用の問題がクローズアップされています。芸団協、日併連、音声協など関係諸団体と協力して法改正に取り組み必要が有ります。文化庁、国会議員などへの働きかけが必要になります。

⑥未加入事業者への呼びかけ。

現在マネ協は116社約6千名の所属俳優がおりますが、未加入事業者、俳優がたくさんいます。法人化を契機に積極的に呼びかけて参加を促し、組織としてのパワーを付けることが大切です。

音声協は新潟中越地震に際して、一千万円の寄付をしました。組織の形態が違いますので一概に言えませんが、マネ協も財政基盤を確立すべく組織の拡大が是非とも必要です。

⑦PRE映像実演権利者合同機構(略称プレ)の活動への支援バックアップ。実演家を護るのは私たちマネージャーです。

以上、これらの課題を実現する上で事務局体制の充実が必要になると思えます。

久保理事長を中心に理事会は、誠心誠意会員事業者の皆様の意見を吸い上げて運営にあたっております。

いよいよ来年、マネ協の法人化が実現します。会員事業者の皆様が御協力を宜しくお願い致します。

# 「東京都庁展望室ビアパーティー」開催レポート

炎暑の熱気がまだ東京に居座ったままのような暑さの8月30日、東京都庁第一本庁舎45Fの南展望室においてマネ協主催のビアパーティーが開催された。久保進新理事長のお披露目とマネージャーの活躍を追った能村庸一氏の著書、『役者のパートナー・マネージャーの足跡』の出版記念パーティーを兼ねての催しでした。久保新理事長が就任の抱負を挨拶し、山崎・松田両副理事長を紹介し、著者・能村氏の名プロデューサーとして業界のマネージャー陣を見てきて出版に至るまでの経緯などが説明、挨拶されました。あまり表に出ることの無いマネージャーの事を著書としてスポットライトをあててくださった能村氏の功績は大きく、参加者は盛大に賛意の拍手を送っていました。

(レポート編集部・松田 写真伊藤)



久保理事長と梅田前理事長による乾杯の挨拶



出版の挨拶をされる能村庸一氏



能村庸一著

“役者のパートナー・マネージャーの足跡”

●問合せ先／(株) 思文閣 ☎075-751-1781



新宿 サテライト 2004年8月

**スタジオ OPEN!**

- Plan.
- Presentation.
- Producer.
- Scenario.
- Translation.
- Subtitle.
- Visual Edit.
- Supervising of Sound.
- Casting.
- Audio postproduction.
- Finish.
- Aftercare.

HALF H-P STUDIO  
<http://www.half-hp.co.jp>

首尾完結。

株式会社 ハーフ エイチ・ピー スタジオ 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-3-5 BOF代々木公園1  
 代表取締役 南沢 道義 TEL:03-3485-7799(代表) FAX:03-3485-7815

### ★研修に参加して

2004年11月23日～24日、恒例となりましたマネ協研修旅行が伊香保温泉にて開催されました。

今年のテーマは「二次使用料について」。私どもマネージメント事務所や役者タレント達にとっても重要になっているこの二次使用料問題について、映像実演権利者合同機構(略称:PRE)の代表理事も兼任されている守屋氏らを中心に勉強会の進行を進めて頂き、現状の問題点や今後の活動展望などについてお聞きしました。午後4時。ホテル内の会場に続々と集まってくる本日の参加者のみなさん。一人の遅刻や迷子もなく、無事全員つくことができ和やかな中でスタートした会ではありましたが、内容はとても有意義なものになりました。まず今回のゲストであるPREの平井事務局長より「二次使用料」の現状について説明を伺いながら各媒体方局側の対応支払状況、課題などについてをわかりやすく解説頂きながら参加者の疑問等に答えて頂きました。また急速な進化の中で確実に発展を遂げている新メディアへの対応状況や今後の展望になど興味深いお話も多く、私どもマネージメント事業者が置かれている立場今後の対応課題などについて真剣に学ぶことが出来たと思えます。その他にも「執行部への要望」などの中ではマネ協オーディションなどの話題と課題などについても話し合わせ、理事の皆様が私ども会員の意見に耳を傾けてくださっているんだという姿勢も改めて感じさせて頂けたり、そんな中での各社の思惑や考え方などやはり思っているだけではなく直接ぶつけてみるということが一番だということを再認識できた勉強会となりました。

その後の親睦会でも大変和やかな雰囲気の中、酒を交わしながら活発な意見交換などがされており、私自身も大変有意義な話を皆様と多数させて頂きました。その後の2次?会も夜まで大変盛り上がりおこなわれておりました。今回は伊香保温泉という地でおこなわれた第6回マネ協研修旅行、大変良い経験になったと思えます。

ういなぁエンタテイメント  
しろがねしょおむ

### 映像の二次使用料問題を考える

恒例のマネ協研修旅行は11月23日・24日に晩秋の伊香保温泉「森秋旅館」で開催された。バス発着所を降りてから色鮮やかな紅葉に彩られた坂道を登り、たどり着いた森秋旅館は童謡詩人「野口雨情」が定宿にしたという老舗旅館である。到着後、早速会議室に集合して「映像の二次使用問題」について熱心な討議が交わされました。オーディオの運動では二次使用料の主張は従属的な役割しか果たせなかったが映像はマネ協が主張の中心になるべきだ等、建設的な意見が多く出された意義ある研修会でした。

(レポート・編集部松田  
・写真伊藤)



参加者は20社30名となりました。



酒と肴はおあすけに、  
集合写真



今年の2次会はどんな企画が生まれるか?

貸し稽古場  
「恵比寿・エコスタジオ」  
2005年 2月1日  
いよいよOPEN!!

- ・恵比寿駅近く
- ・芝居の稽古場、読み合わせ、歌のレッスン室にも最適
- ・ゆとりの1フロア(170㎡)



株式会社 スタジオ・エコー 〒150-0011  
東京都渋谷区東3-18-3 エコービル  
(テアトル・エコー系列) TEL.03-5466-3322 FAX.03-5466-3314

# オーディオ部会報告

## オーディオ部会担当理事

### 町田 泉

「平成十七年度・外画動画ランク申請及び新人登録について」

★最低ランク等の条件”申請用紙”等、全て今年度と同じです。

《ランク申請》

・外画動画ランクは申請「コル」決定”ですの審査や回答は有りません。

・ランクは、最低ランク（二万五千円）以上であれば、上げ下げ自由です。

《新人登録》

・新規登録者は「新規」に○印。既に登録済の者は「登録年月」を記入し、「継続（2004年4月登録）」か「延長（2003年4月登録）」に○印。「2002年4月以前の登録者」は、「新人期間終了」となります。

・新人は「新人登録者名簿」にのみ記載し、新人を終了（登録抹消）し、ランクを付ける場合は、両方の用紙に記載して下さい。

★提出は、来年1月25日（火）迄にマネ協事務局へ郵送、又は、直接持参して下さい。

★提出日厳守でお願いします。

★ランク据え置きであっても、申請しないと音声連のランク表に掲載されません。新人も同様です。必ず提出して下さい。

★申請用紙が足りない場合は、コピーを取って使用して下さい。以上

尚、新しい実務運用表が未到着の為、未だに各会員社に配付出来ないままになっております。届き次第、説明会を開催しますので、その際は、改めてお知らせします。今しばらくお待ち下さい。又、最近、音声連未加入の会社で、TVアニメシリーズが始まる

ケースが増えてきているようです。「作品登録」の問題が有りますので、情報が有り次第、事務局または、私へ直接連絡を下さいます様、皆様のご協力何卒宜しくお願い申し上げます。

## 三団体

### 担当理事

### 熊野 勝弘

10月14日にNHKの著作権部において、NHKと三団体の会議がもたれた。例年通り、三団体より以下の提案をさせて頂いた。

(1) 最低基準出演料をテレビ（現行18,000円）を22,000円に、ラジオ（現行17,000円）を20,000円に改定していただきたい。

(2) 基準出演料の上限をテレビ300,000円、ラジオ100,000円にしていたいただきたい。

(3) 所属プロダクション、所属劇団が推薦する俳優に関しては優先してランクアップをお願いしたい。

(4) 貴協会並びに関連会社が外部に制作を発注した作品について、出演料だけでなく旅費・宿泊費・諸手当・撮影時間等の条件も協会本体で制作する場合と同等にお願いしたい。

(5) 放送3年目以降のリピート料のアップを考慮して欲しい。

(6) キャンセル料とは別に拘束料の設定を考慮して欲しい。

(7) 民放では出演者の氏名表示を極力する努力が見られます。貴協会の氏名表示基準をお伺いしたい。

(8) 出演料にプラスして使用料等が支払われる際は、使用料等の種類・金額がわか

るように表示していただきたい。  
(9) もし、事故が起きた場合、補償金でもめる事になります。保険について共に研究していただきたい。

この中で新たに問題提起されたのが、(4)の部分である。NHK及びNHKエンタープライズ21が制作するドラマと、NHKで放送されるにもかかわらず外部プロダクションで制作される場合の待遇の違いである。これは、実際に撮影に参加した俳優とその事務所から出た話なのだが、どちらの場合も出演料はNHK払い、これは同じである。その後である。例えば京都で撮影が行なわれたらしよう。NHKの場合、ロケ手当（あるいは出張手当）が支払われる。宿泊にしろNHKのスタッフが手配してくれる。

ところが京都の撮影所の場合、撮影所の規程で宿泊費が支払われるし、ロケ手当も無い。この実態を著作権部の方々はご存知でしょうか、という質問が当日行なわれたのである。三団体としては、この件に関しては当該制作会社に対して待遇改善を求める問題ではなく、あくまでもNHKがその実態を把握して、改善して頂きたいというお願いを致しました。「NHK著作権部としては、まず実態を把握させて頂きたい。その上で検討致します。」という返事を下さいました。

民放四社の場合は、8月30日に民放四社・三団体会議が行なわれました。ゾーン制度に移行してからまだ2年目のことでもあり今のところお互いに不都合を感じていない様なので、このままもう少し様子を見まさんかという事でした。又、フジテレビの千葉さんが11月16日PREに招かれ、マネ協が共催しているPREの著作権セミナーが開催されました。以上ご報告まで。

## マネ協・会員事業者の皆様へ

### 日俳優・所属を考える会 「あけほの」からのご報告です。

師走の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2002年7月から今日までの約2年間、所属を考える会「あけほの」会員からのマネージメント事務所等に「所属」したいという希望に対し、閲覧のためプロフィールを預かって頂く、またはお忙しいところを面接に応じて頂くなど、色々ご配慮を頂きまして心より感謝致しております。

さて、発足当初40名近く居ましたあけほの会員の殆どは「所属」が決まるなど何らかの形で落ち着き、現在、プロフィール掲載会員は9名となっています。このような状況を受けまして、この度世話人会並びに全体会を開催しその中で「本会の目的はある程度達せられた」等の認識の下、所属を考える会「あけほの」の活動を2005年3月を持ちまして当面休止することが議決されました。

今日まで活動を続けることが出来たことはひとえに、マネ協事務局の伊藤様を初め多くの日本芸能マネージメント事業者協会会員事業者様のご協力の賜物と、心より感謝致しております。尚、9名は3月までは「あけほの会員」ですので、面接等の機会を与えて頂ければ幸甚に存じます。

簡単ではございますが、これまでの経緯をご報告させて頂きますとともに、皆様方のご高配に対し心より御礼申し上げます。ご挨拶に代えさせて頂きました。

どうも有り難うございました。

2004年12月 吉日  
協同組合 日本俳優連合  
所属を考える会「あけほの」  
世話人代表幹事 須永 慶

# 「実演家を護るのは私達マネージャーです」

## <PRE通信 その2>

映像実演権利者合同機構=略称PRE(プレ)

代表幹事 守屋 俊郎

PRE(プレ)は、実演家の著作権隣接権を擁護し、二次使用料等の分配実務を適切・公平に行うために、マネ協をはじめ日本劇団協議会や日本俳優連合など俳優関連団体16団体の賛同・協力を得て2001年4月6日に設立されました。

### <お待たせしました。お待ちかねの分配金です>

立ち上げの頃こそPREの運営の進め方に拙速もあって他の権利処理団体との軋轢が生じたり、予想もしない事務局内トラブルが発生したりと、前途の容易ならざるを思い悲嘆にくれた時もありましたが、お蔭をもちまして漸く二次使用料の分配業務および事務局運営等が順調に進められ、先々の見通しが立ってまいりました。殊に二次使用料につきましては、徴収団体の芸団協CPRA(クブラ)から支払い月の通知がありながら履行されないということで、徴収業務に携わらない私どもPREにもたくさんの問い合わせがありました。CPRAの事務処理の都合で滞っていた使用料もPREと互いに協力し合うことで未処理分が順次解決され、以下の分配金額が今期11月分配(各プロダクションへの振込は12月中旬を予定)の運びとなりました。今後もおCPRAに停滞している使用料のPREへの払い込みを促し、PRE分配月の5月・11月には着実に委任者のお手許に分配金がわたるよう努力してまいります。またPREは、各権利処理団体の窓口ともいべきCPRAと共に各局等と交渉にあたり実演家(俳優)の正当な二次使用料等の徴収を図って参りたいと思います。一層の協力をお願い申し上げます。

商業レコード(追加分)	H5~H13	¥4,374,016
商業レコード(放送分)	H14	¥9,200,786
録音権	H14	¥29,389,151
貸しレコード(追加分)	H3~H14	¥4,109,412
貸しレコード	H14上期	¥5,777,527
私的録音補償金(音楽)	H14~H15	¥2,374,680
私的録画補償金(音楽)	H11~H14	¥516,112
T B S - C S	H14/2~H15/10	¥24,385,802
C X - V T	H14/10~H15/12	¥78,731,141
私的録画補償金(映像)	H11~H14	¥43,120,022
部分使用	H16/4~H16/9	¥13,631,276

合計 ¥215,609,925 - (MDS手数料、PRE手数料15%含。部分使用は20%)

### <今年最後のセミナーは「コントでわかる、俳優の権利」>

委任者の代理人であるマネージャーの皆さんを対象に「あなたは実演家の権利を知らないで交渉していませんか」と題したセミナーを昨年12月8日、恵比寿エコー劇場に於いて第1回目を開催して、その後はPRE会議室においてほぼ毎月のように行って来ました。弁護士や各局ライツのエキスパートの方々を講師に迎えて好評のうちに進めて参りましたが、受講者からのご意見に「とっつきにくい著作権隣接権法を、いまいし分かり易く説明頂きたい」との声もあって、それならばとマネ協に協力をお願いして、俳優と弁護士の解説による「誰にもわかるコント仕立てのセミナー」を企画いたしました。詳細は改めてご案内いたしますが、恵比寿エコー劇場に於いて12月6日(月)を予定しています。出演現場での交渉にすぐに役立つ実践的講座です。マネージャーの皆さんの多数の参加をお待ちしています。

# [マネ協・会員事業者リスト：115社/h 16年12月]

- |   |   |  |
|---|---|--|
| <p>(株)アーツビジョン<br/> (株)アイエス<br/> (株)AIMエンタープライズ<br/> (株)青ニプロダクション<br/> (株)アクセント<br/> アクターズ・カンパニー<br/> (株)アクターズセブン<br/> (株)アクターズプロモーション<br/> アスク・マネージメント<br/> (株)アドヴァンスプロモーション<br/> (有)アルファエージェンシー<br/> (株)アンクルベイビー<br/> (有)あんどろ<br/> (有)イーアンドエー<br/> イスpring[有)スタジオ藍丸]<br/> (有)イジマルーム<br/> 声の劇団イマージュ<br/> (有)岩淵ぐるうぶ<br/> (株)ウイットプロモーション<br/> (有)ヴィーヴ<br/> ウィナー(株)[ういあエンタテイメント]<br/> (有)エーエス企画<br/> (有)ぷろだくしょんA組<br/> (株)81プロデュース<br/> (有)エスプレイング<br/> (株)エヌ・エー・シー<br/> (株)エ・ネスト<br/> (株)エム・アール<br/> M. M. P<br/> (有)エムカンパニー<br/> (有)えりオフィス<br/> (株)円企画<br/> (株)大沢事務所<br/> (有)大平プロダクション<br/> 落合事務所<br/> 劇団擡<br/> (有)オフィス薫<br/> (有)活動屋<br/> (有)キリンプロ</p> | <p>銀プロダクション<br/> (株)クオレ<br/> クレイン・リバー[(株)ガガ・イン]<br/> (株)黒沢良事務所<br/> (有)ケッケコーポレーション<br/> (有)賢プロダクション<br/> (有)元氣プロジェクト<br/> (有)現代制作舎<br/> (有)ケンユウオフィス<br/> (株)コスモスペース<br/> (株)さち子プロ<br/> (有)サニープランニング<br/> (株)三桂<br/> (株)CSRコーポレーション<br/> (株)オフィスCHK<br/> (有)ジェイ・クリップ[リベルタ]<br/> (株)シグマセブン<br/> (株)仕事<br/> (有)シス・カンパニー<br/> (株)ジンス<br/> (有)スターダス・21<br/> 劇団昂<br/> 青年座映画放送(株)<br/> (株)ソーラーカンパニー<br/> (有)宝井プロジェクト<br/> (有)田上事務所<br/> (有)竹内事務所<br/> (有)プロダクション・タンク<br/> (株)テアトル・エコー<br/> TAG(東京アナウンス学院)<br/> (有)TABプロダクション<br/> D・R・A[(株)放送表現教育センター]<br/> (株)ディー・オー・エー<br/> (株)オフィス・テン<br/> (有)too-do<br/> (株)東京乾電池オフィス<br/> (有)東京芝居倶楽部<br/> 東京俳優生活協同組合<br/> (株)同人舎プロダクション</p> | <p>(株)劇団東俳<br/> (株)オフィス・トクヒロ<br/> トム・プロジェクト(株)<br/> (有)トリトリオフィス<br/> (有)中里事務所<br/> (有)劇団21世紀FOX<br/> (有)劇団俳優座<br/> (株)ぶろだくしょんバオバブ<br/> オフィスP. A. C<br/> プランニングメイ(有)<br/> (株)古館プロジェクト<br/> 劇団文化座<br/> (株)文学座<br/> (株)放映新社<br/> (株)宝映テレビプロダクション<br/> (有)劇団朋友<br/> (株)舞プロモーション<br/> (株)マウスプロモーション<br/> (有)オフィスまとは<br/> (有)ミズキ事務所<br/> (株)劇団民藝<br/> (株)ムーブマン<br/> (有)ムーンライト企画<br/> (有)プロジェクト・メガリス<br/> (有)メディアフォース<br/> モアナ・ファクトリー<br/> (株)矢島聰子事務所<br/> (有)山田栖峯子事務所<br/> (株)ゆーりんプロ<br/> (株)ヨコザワ・プロダクション<br/> (有)ワタズ・カンパニー田畑富久子事務所<br/> (株)ラヴァンス<br/> YAG(代々木アニメーション学院)<br/> (株)若プロダクション<br/> (株)劇団若草<br/> (有)オフィス・ワット<br/> (有)ワンダー・プロダクション</p> |
|---|---|--|

## 賛助会員一覧

(2004年12月現在)

<p>&lt;法人&gt; (株)NHKエンタープライズ21  (株)オセロット  紀伊國屋ホール  (株)C. A. L  松 竹(株)</p>	<p>松竹京都映画(株)  (株)テレビ朝日  (株)テレビ東京  (株)東京演劇音響研究所  (株)TBSテレビ</p>	<p>(社)日本劇団協議会  日本テレビ放送網(株)  (株)俳優座劇場  (株)フジテレビジョン</p>
---	---	---

<個人>	<p>戊井 市郎  角野 卓造  西川 信廣</p>	<p>鷺山 仁  北村 和夫  渡辺 徹</p>	<p>岡本富士太  坂口 芳貞  山岸 伸</p>	<p>加藤 武  平 淑恵</p>
------	------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	-----------------------

## ■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。



# 現場マネージャーの独り言

(匿名)

## 「ある大物マネージャーの死」

今年9月8日、故望月彰人氏(享年67歳)の「お別れの会」が明治記念館でしめやかに執り行われた。「元赤坂プロダクション社長」としてテレビ・映画の世界を縦横無尽に駆け巡り大活躍した大物マネージャーです。大勢の俳優を育てマネージメントし、テレビや映画の世界で大きな発言力を持っていらしたマネージャーだったと聞きます。現在のマネ協の前身に当たる「マネージャー協会」の設立にも尽力されて理事を務めた経歴もある方で、晩年は「青ニプロダクション専務取締役」として活躍された方でした。新前マネージャーだった私が取り付く島も無く所在無くしていると、やさしく話しかけてくれる温厚でやさしい大先輩でした。

お別れ会は明治記念館のひときわ広い「富士の間」にあふれるばかりの弔問客が参列し、津川雅彦氏の心に染み入る「お別れの言葉」が印象的でした。「望月さん、あなたは小手先のマネージメント技術などよりも、心をこめて役者の味方になってくれた、誠意のマネージメントをしてくださったかたです。」と嗚咽をこらえながらの津川氏の弔辞に参列者のすすり泣きも聞こえました。花々に彩られた祭壇には、「じゃ

元気でナ」と今にも笑顔で話しかけてきそうな望月さんの遺影が飾られ、思わず心の中で「望月さんありがとう御座いました」と叫んでいました。献杯の号令を待ちきれず私は人陰でお神酒を頂戴してしまい、お神酒の濁り酒のような目になって「マネージャーの仕事も捨てたもんじゃないな!」と心の中でつぶやいていました。それにしても名マネージャー望月さんの偉業をしっかりと評価し、賞賛を惜しまず、「芸能マネージャー」という職業に生涯をささげた大マネージャーに、最大級の敬意を表したお別れ会を指揮し段取りされたという黒田洋氏と青ニプロ首脳陣に、改めて素晴らしいお別れ会をありがとうと裏方に徹する同じマネージャーとして申し上げたい心境で嬉しくなり、帰りしな、もう一軒立ち寄り案の定、深酒となり、しまいにはチドリ足の「レレレのおじさん」になってしまったことは言うまでもありません。合掌。

(M)



## 『 訃 報 』

### 会 員

- ・ ㈱九プロダクションの代表 平林章三氏が、10月3日逝去されました(享年67歳)。謹んで御冥福をお祈り致します。

### 関係者

- ・ マネ協の理事を務められたことも有る、(株)青ニプロダクションの望月彰人氏が9月8日逝去されました(享年67歳)謹んで御冥福をお祈り致します。
- ・ PRE幹事で、マネ協オーディションにも協力頂いていた、㈱文学座の根津克己氏が10月27日逝去されました(享年59歳)。謹んで御冥福をお祈り致します。


**MOVEMENT REPORT**  
 JAPAN MANAGERS ASSOCIATION

## &lt;2004年7月&gt;

- 12日 PRE常任幹事会 (PRE)  
 13日 常務会・第153回定例理事会  
 20日 ビアパーティー準備会 (マネ協)  
 21日 // (都庁)  
 26日 三者 [マネ協・日俳連・音声連] 実務小委員会 (日俳連)  
 // 三団体 [マネ協・劇団協・日俳連] 会議 (日俳連)  
 29日 PREセミナー第7回 (PRE)  
 30日 NMRC・MCF・三者会議 (日俳連)

## &lt;2004年8月&gt;

- 3日 マネ協・実務小委員会 (マネ協)  
 9日 PRE常任幹事会・幹事会 (PRE)  
 10日~16日 事務局夏季休業  
 18日 ビアパーティー準備会 (マネ協)  
 25日 二者 [マネ協・日俳連] 実務小委員会 (日俳連)  
 26日 ビアパーティー準備会 (マネ協)  
 30日 民放四社・三団体会議 (TV朝日)  
 // ビアパーティー (都庁・南展望室)

## &lt;2004年9月&gt;

- 6日 PRE常任幹事会 (PRE)  
 7日 常務会・第154回定例理事会 (マネ協)  
 15日 PREセミナー第8回 (PRE)  
 16日 二者実務小委員会 (日俳連)

## &lt;2004年10月&gt;

- 6日 三団体会議 (日俳連)  
 12日 常務会・第155回定例理事会 (マネ協)  
 13日 PRE常任幹事会 (PRE)  
 14日 NHK・三団体会議 (NHK)  
 15日 PREセミナー第9回 (PRE)

## &lt;2004年11月&gt;

- 2日 法人化「定款」認証 (練馬公証役場)  
 9日 常務会・第156回定例理事会 (マネ協)  
 10日 PRE常任幹事会 (PRE)  
 16日 PREセミナー第10回 (PRE)  
 23日 マネ協・研修旅行 in 伊香保 (森秋旅館)  
 24日 //

編 集 後 記 VOL.19

今年も何かとあわただしく、台風、炎暑、洪水、地震と自然の摂理に踊らされた一年であった。暑気払いビアパーティー開催の記事を師走の会報に載せる厚顔編集長を恥じ入っています。今年は何事もうまくいかない不運な一年でした。私事ですが、泳ぎに行ったサイパンのビーチは台風襲来でクローズ。折角来たのにと、やけばちで滞在ホテルのプールで思いっきりバタフライを披露すれば監視員が溺れていると勘違いして救助用の浮き輪をもって駆けつける始末。ビールが1センチほど残っているのにグラスを片付けてしまうウェイトレスに敵意を持つのは卑しい「ノンベ」の習性か？来年こそは素直で健康な人生に軌道修正したいと願う編集子でアリマス。皆様どうぞよい新年をお迎えください。

(編集部・松田咲實)

**マネ協新加入事業者の紹介**
**イースプリング**
**【(有)スタジオ藍丸】**

〒171-0022  
 東京都豊島区南池袋3-9-2  
 池袋ハイツ1001  
 TEL.5979-7118  
 FAX.5979-7117



代表者  
佐久間敏郎



会員代表  
若泉 絵子

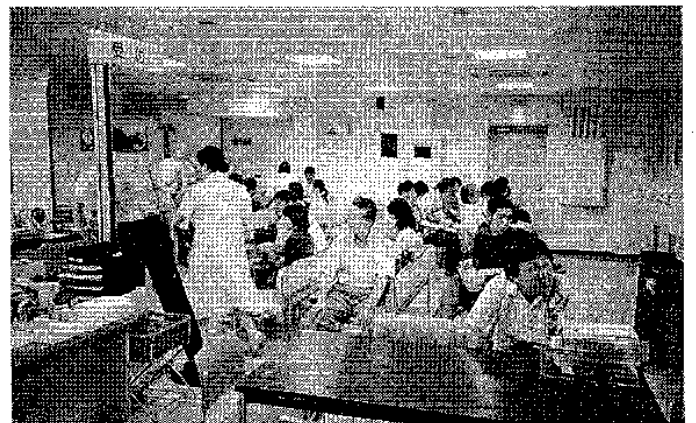
**(株)ディー・オー・エー**

〒107-0052  
 東京都港区赤坂2-16-8  
 HAGAビルⅡ  
 TEL.3226-5371  
 FAX.3226-6277

代表者  
高 賢治  
 会員代表  
佐川 勝昭

**【退会事業者】**
**㈱九プロダクション(解散)**
**『健康診断報告』**

報告が遅くなりましたが、今年も6月24・25日の両日、代々木病院・健診課にてマネ協集団健康診断が実施されました。会員各社の皆様の健康維持を目的に毎年実施しておりますが、一昨年の165名、昨年の179名、そして今年の199名(26社)と受診者も増加し、この健康診断の重要性が高まっていることを感じます。来年度もまた、同時期に実施する予定ですので、より多くの方に受診して頂きたいと思っております。(報告：事務局)


**\* 編集委員募集中です。**

編集スタッフ連名 松田咲實 伊藤信 (事務局)

 ● <http://www.manekyo.com>

● e-mail: manekyo@nifty.com



# マネ協

題字 杉本 裕子

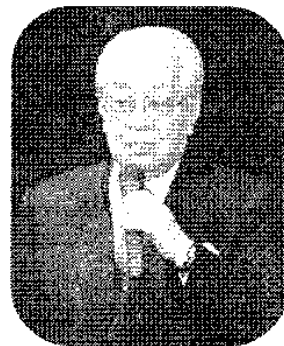
有限責任中間法人  
日本芸能マネージメント事業者協会  
〒160-0022 東京都新宿区新宿  
1-29-5 グランドメゾン新宿東210  
TEL. 03 (3225) 5984  
FAX. 03 (3225) 5949  
E-mail: manekyo@nifty.com  
http://www.manekyo.com

発行日 平成17年4月5日  
発行人 久保 進  
編集人 松田 咲翼  
印刷 谷本 企画

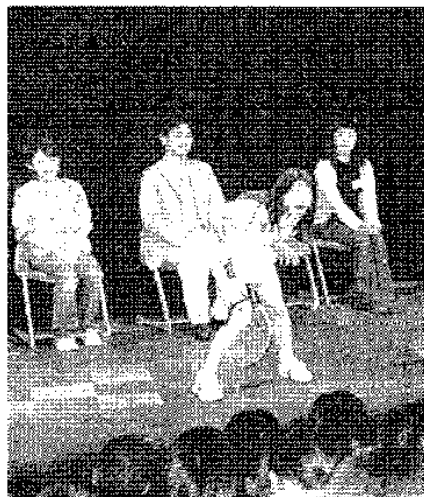
M A N A G E M E N T R E P O R T

## 恒例『劇団卒業生スカウトオーディション』を開催！

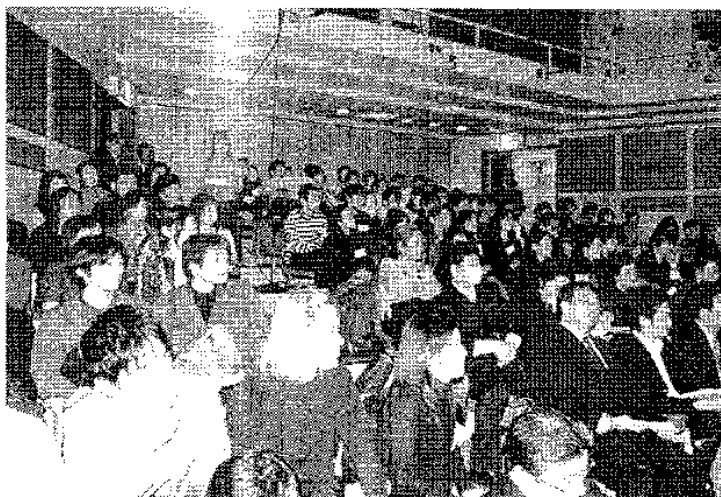
3月3日に恵比寿・エコー劇場において第5回目を迎える「劇団卒業生スカウトオーディション」が開催されました。久保理事長の挨拶の後、文学座、青年座、円、エコー等、計71名の卒業生がパフォーマンスを披露し、58名に会員事業者からのスカウト指名がありました。守屋理事、山崎副理事長、豊田理事等の皆さんがセッティング・進行をしてくださり、卒業生は無事全員が力強いアピールを行い、スカウト先との所属交渉に入ることになります。所属先での活躍を目指して卒業生たちは第二ステージに進みます。(レポート・編集部松田、写真・事務局伊藤)



挨拶に立つ  
久保理事長



迫力あるアピール！



今年は、プロダクションの参加も増えました



指名の説明をする  
守屋担当理事

## 念願のマネ協法人化成る！

法人化推進担当理事  
亀井 俊夫

平成17年1月11日、久保理事長による登記申請を行い受理され、マネ協法人化が実現しました。(2月17日付、官報に公告)

これでマネ協の正式名称は、「有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会」になりました。

平成14年4月1日施行の中間法人法という法律に基づく法人化です。関連団体の音声連は一昨年に法人格を取得しました。

昭和45年日本芸能マネージャー協会(個人参加)が産声をあげて、平成2年日本芸能マネージメント事業者協会(事業者会員)となり、平成17年の今年、マネ協創立35周年の節目の年に、マネ協法人化が実現した事は、マネージャーの社

会的職能的な地位向上を目指す上でも、所属する俳優を擁護し出演の諸条件を向上させる上でも、歴史的な大事業の第一歩であり、スタートラインにようやく立ち得たといえましょう。

これでマネ協も社会的に認知された存在となり、新たな出発点となりました。

法人格を持つ事により社会的な信用を得て、「団体契約」の法的な当事者になりました。

今後はNHK、民放局や音声連、製作者団体との団体契約を結ぶ事ができるようになりました。

業界の繁栄のため、共存共栄の精神で、業界の健全なルール作りをする必要があります。マネ協が積極的な役割を担う事が求められております。

## 法人化記念特集

## 「理事が語る／私のマネージャー論」

編集部では法人化を記念にして各理事さんにマネージメントの持論のようなものを書いてもらい特集を組みました。理事諸氏は信頼厚いベテランマネージャーさんたちでもあり、会員事業者の皆さんにとってもヒントになったり、参考になる話がきつとあるに違いないと思い、多忙な理事の皆さんに原稿依頼してみました。社内会議の資料にでもなればと思いお届けいたします。(編集部・松田)

## 「私の心得」

理事長 久保 進

この世界に入って、はや半世紀を迎えようとしている現在も、マネージャー業の難しさに心をいためる毎日です。昭和44年に俳優16名とスタートした青二プロダクションも、今では若い優秀なマネージャーが多数育ってくれました。

私の経験から若いマネージャーに指導してきたことがあります。

①我々の財産は信用と信頼である。

従って我々は常に誠意と責任を以って積極的に事に当たらねばならない。

②我々は俳優の代理人であり弁護人であるので常に俳優のよき代弁者でなくてはならない。従って我々は俳優を擁護する義務がある。

③我々は俳優個々の希望する出演条件を的確に把握、理解しそれを出演契約の場で常にPR出来るよう努力すること。

従って俳優に対する役柄の固定観念は我々の最強の敵であることを明記せよ。

④出演契約成立後は俳優がベストコンディションで作品に参加できるように万全の配慮を怠ってはならない。

従って出演現場の確認はもとより出演後も出来る限りのモニター情報を集めそれを俳優に正確に伝えること。

⑤ミスをした場合それを素直に認め一刻も早く相手に対し我々の誠意と責任を明示するあらゆる手段を以って善後策を講ずること。

そしてマネージャー一人一人が

心身共に健康であれ！

心身共に清潔であれ！

一日の始めと終わりには挨拶を！

感謝と感動の心を持って！

……とハツバをかけてきました。

今、若いマネージャーと一緒に仕事が出来ることが、最高の幸せであり心の支えになっています。

## 「モットーは信頼、敬愛、対話」

副理事長 山崎 謙

最初に、私は人間が大好きです。いろんな人々と出会う事が楽しみです。唯、5%程、駄目な人種の方はいますけれども……。そして、大変話の聞き上手で、話下手のマネージャーである事を、お断りしておきます。若い頃は、人と話をするに赤面し、腋の下は汗びっしょりで苦勞しました。

俳優は物を云う商品である以上、様々なトラブルが起こりうる可能性が高いので、日頃から意識的に努力して、撮影及び舞台の現場に顔出しし、俳優とよく対話する事を心掛けています。そこから信頼が生まれてくると考えています。基本的に目立ちたがり屋の人はマネージャーに向いていないと思う。黒子に徹して仕事をすべきだと思います。プロデューサー、ディレクター等にも、空いている時間は営業に歩いて話をしています。PC時代に入った現在こそ逆に現場に出て行き、会って対話し、互いに人間関係を良好にすべきです、事務所においても何も進化しないと思います。やっぱりマネージャーは歩けです。

## 「わたしのマネージャー論」

誠意は通じる！

副理事長

松田 咲貴

私が新人マネージャーとして駆け出した頃、担当は郊外にあるテレビ映画製作会社を中心マーケットで、二年に一シリーズ程の作品を受注しては細々と経営をなしているような半分マイナーな映画会社だった。プロデューサーのT氏(故人)はゴキブリとあだ名される人物で出演料やスタッフ経費を値切ったりすることこそがプロデューサーの役目と思いきり勘違いしているような人と噂される人で、マネージャー仲間から敬遠されているという人物でした。

私は先輩マネージャーより、あらかじめ事前情報とレクチャーを受け、いざゴキブリ氏に逢いに出かけたのでした。事務所の片隅に置かれた駅のベンチのような応接机で向き合った瞬間、その風貌に私は思わず笑いがこみ上げてくるのを禁じ得ませんでした。下駄のような四角い顔にアグラをかいた鼻で鼻腔は真正面からその洞窟の奥深くまでストリートに覗け、剛毛のハナ毛が逃げ込んだゴキブリの足のようにハミ出しているではありませんか！私はアタ名由来を瞬間的に理解し、それでも真顔で新番組の売込みを開始したのでした。しかし、案の定当時の主役級の俳優を半値程度で出演させる形で寄り切られ、上司からは苦言の嵐。交渉術の未熟さを痛感したものでした。それでも製作サイドの意気込みを俳優側に申し伝え、それを受けた所属俳優は熱演し、レーティングも思いのほか伸びてゴキブリ氏は私のマネージメントを好感し雑談なども交わすような間柄になって、私もゴキブリ氏の仕事上、企画上、役立ちそうな旬な情報を選りすぐってお伝えするように努力する姿勢を買ったのです。

ゴキブリ氏も最初の傲慢で不遜な態度を改め小さな問題でも誠意を持って相談してくれるようになり、以後様々な番組で長い付き合いをするような信頼関係になったのでした。しまいには、ライメンライスなどをおごって貰う間柄にまでなっていました。ゴキブリ氏と一緒に番組を創っている仲間、一人の仕事に取り組む人間として誠意を持って付き合い合っていたことが彼の信頼関係を深める要因であったように思います。イヤな奴という噂や先入観を捨てて丸裸があるがままの田舎出身の自分をさらけ出したのがゴキブリ氏も警戒心を捨てて私と付き合い合ってもらえる原因だったように思います。どんなビジネスでも「誠意」こそが重要と感得し、認識するに至ったゴキブリ氏との出会いでした。

最後に「マネージャーたる者、役者を売りたいなら、まず自分を売れ！」の一言に尽きるような気がします。

## 「私のマネージャー論」

理事相談役 梅田濠一郎

私はマネージメントについて、殊更な持論のようなものを持ち合わせてはいない。自分の属する劇団の俳優を信じて自分の感性を信じて売り込むしかない。幸い劇団の創造活動に評価が生まれたことやマスコミ出演した俳優が好評を得たり、相乗効果の中でマネージメントがしやすい環境が生まれたことも否めない。自劇団の俳優の特性やセールスポイントを舞台公演を観てつぶさに把握していくこともマネージメントには欠かせない。主要局の番組企画情報にアンテナを張り、信頼できる同業の中間も仕事をやり易くする上で不可欠と思う。

幸運にも私は良いマネージャー仲間恵まれ、情報交換できたことも割合、大過なく仕事が順調に運んだ要因でもあるかと思う。実演家と製作現場の意思疎通の通訳になることもマネージャーの大切な役割ではないかと思えます。双方が何を望みどうしたいのかを意見調整し仕事がスムーズに進行するように調整役、あるいは潤滑油の要素がマネージャーの重い役割を占めると確信します。俳優との信頼関係を絶対的なものにし、ベストコンディションで出演が果たせるように段取り、吟味することもマネージャーの大切な任務です。演技上のアドバイスやヒントを、俳優に出すことによつて見違えるような演技表現を演じてしまふ俳優もいることは皆さんにも経験があることでしょう。時としてはマネージャーの眼で見た批評をしてあげて、俳優に自信を付けさせることが有効に働くこともありまふ。マネージャーは何かにつけて俳優の味方であり、俳優の理解者であることが大切になってきます。

マネージャーとは裏側で日本の芸能文化を支える重要な役割を持つという自負心を持ってかかるべき職業ではないかと思えます。

## 「失敗」

理事 豊田紀雄

素人劇団時代の役者生活を入れると、約十年程役者をやつてから、マネージャーになつたので、役者の気持ちがかかる心算りでいたのだが、売っていた役者が、ひとり又ひとり所属していたマネージャーと独立していくにつれ、本当は役者の気持ちに全く理解していなかったのに気付いた。遅すぎた。

小さな舞台を観て、心魅かれた役者、又所属する役者に紹介されて何度か会ううちに、心動かされてマネージャーを引き受けた役者、プロデュースした芝居に出演したことによつて出会った役者、入所するきっかけはいろいろあるが、いずれにしても演技力が有り、あるいは将来性を感じられる人物、そして人間性の豊かな人物を中心として事務所をはじめ三十五年になるのだが役者とスタッフを引き止めておく力と魅力が私には欠落していた。

役者はいつも不安と孤独感に押し潰されそうになってくるのだ。頭では理解していたのだが、本当には分かっていた。

自分を感動させてくれる役者を心をこめて売り込む。優れたドラマに参加することによつて、より一層優れたドラマになる。

その自信と喜び。仕事をくれた側も、ドラマを観た側も大いに喜び、次の仕事につながる。役者の収入も増える。事務所も潤おう。よし、では次の役者を育てるぞ。そして次の役者に力を入れる。それがいけない。それが私の失敗。売れてきた役者は、いつか売れなくなるのではないかと不安が、だんだん増してくるのだ。そこに気がいかなかった。それでは役者が離れて行く。基本的なことが分かっていなかった。

夜中に何度も目が醒める。仕事とれない。素晴らしい役者の仕事は全くない。酒の量が増す。身体を壊す。それでも明日は少し変わるかもしれない。かすかな希望の灯を見つめ続ける。その繰り返し。

## 「マネージャー(2)」

理事 熊野勝弘

我々の先輩マネージャー山崎洋子さんが書かれた「沢村貞子という人」の中にマネージャーってナニ?という目次で名文が載っています。この一文を読めばマネージャーって何をしなければならぬのかお判りいただけると思います。興味ある方は是非お読み下さい。僕も若い頃よく待ち合わせの時間に遅れて叱られました。1台前の新幹線に乗っているのに連絡がとれない、当時(30年位前)は携帯電話等便利なものはない、その上新幹線から新幹線に電話が出来ない、朝早いため家族も寝ている。しばらくしてから家に電話をかけ、前の新幹線にかけてもらったものである。僕がマネージャーになったのは、劇団の人事で営業から映画放送部へ移動になったからです。

何も判らないので先ずテレビドラマ、映画を見る事から始めました。どういふ人達がどういふドラマを作っているのかノートにメモしていき、その横に感想をかいておきました。あとは自分の顔を覚えてもらう事です。それには通う事です。顔を覚えてもらい台本を読ませてもらい売り込んで、なかなか決まるものでは有りません。それが何回も続くと気持ちがぐくじけそうになります。その時は一時的に自分の好きな世界に逃げましょう。本を読んでもいいし、映画を見てもいいし、スポーツをしてもいいし、気を紛らわしたら又、戦いを挑みます。しかしただ漫然と本を読んだり映画やテレビドラマを見るのではなく、自分達の役者だったらどの役ができるかどうか考えます。考える事は楽しい事です。ある時プロデューサーにこういう面白い本があるんだけどと話したら本当にその本がドラマになった事があります。その時は自分達の役者も出演するチャンスももらいました。僕も企画協力費としてお小遣いを頂きました。プロデューサーから付加価値を認めてもらえるマネージャーになれるよう頑張りたいと思えます。

## 「これもまたマネージャー」

理事 守屋俊郎

残念ながらと言おうか、恥ずかしながらと言おうか、私はマネージャーはこうあるべきとか、こうあらねばいけないと云った考えを持ち合わせていない。と言つて、どうでもいいなどとも思っていない。そんなことを考えた事もないのかと言つと、結構考えた事はあるように思う。が、結局は「論」などと云える代物にならない。ようするに考えがちゃんと纏まらないのだ。

例えば、当然のことだがマネージャーとして最優先されるのは、その時々をどのようにうまく対応すべきかだが、これはマネージャー論では無く、どの職業にも云える単なる仕事の仕方だろう。

マネージャーも様々だ。俳優の身の回りの世話が主な仕事の付き人的マネージャー。スターへの道を切り開く事への情熱を傾けるマネージャー。自社の俳優を芯に据えた企画を考えるプロデューサー的マネージャー。とにかく件数でこなすマネージャー。昔ながらの番頭さんのマネージャー。夫婦顔負けのパートナーシップを発揮するマネージャー。やたら俳優管理を意識するマネージャー。・・・どれもマネージャーだ。どのマネージャーもどれかに当てはまり、またどの顔も持っている、それがマネージャーと云える。マネージャー自身がこうありたいと願つてもプロダクションによつて求められるマネージャーは違うだろうし、マネージャーとして経験を積み重ねていく段階によつて仕事の仕方もある存在性も大いに違つたものとなるだろう。

私自身、何処へでも顔を出しては一件でも多くの仕事を頂くことからマネージャーを出発して、やがて誰から決められることなく数名の中心となる俳優を担当すると共に大勢の俳優をも同時に売り込むことに奔走し、今や誰を担当するともなく同僚マネージャー達のサポートや社内外の雑用に追いまくられるとともにマネ協やPRE、劇団協など幾つかの仕事に関わっているが、これもまたマネージャーだ。

「私のマネージャー論」

理事 亀井俊夫

マネ協が産声をあげた時に私は、俳優に入社した。早いもので35年にもなる。何がマネージャーにとって必要かと問われた時、年齢を重ねると共に、人生とは何かと問われる事と同じように聞こえる。

自分の人生は、よりよく生きいきと生きよ。自分の魂の声をきけ。誠実に。正直に生きるのがいちばんのよう気がする。

私達の仕事は、俳優がいて、自分がいる俳優あつての商売である。俳優を生かす事が生きる道である。

尻の穴の小さい女々しい男になるな。逃げないことである。困難な時、辛く苦しい時、逃げることなく踏ん張ることだ。男をみがく。心を鍛える。誇りを持とう。必ず、神様仏様の導きがある。

①好きこそ物の上手なれ。愛は地球を救う。どんな職業であれ、自分の仕事を好きになることが大切だと思っている。俳優を好きになること、現場大好き人間になることだ。好きになると、今まで見えなかったことも見えてくる。自分には及ばない何て凄く奴がいるんだらう。監督、カメラマン、美術照明、録音、音楽、衣装、現場は何と素敵な職人集団であることか。化け物の俳優がいる。感動と発見の連続の日々である。映画を見る。脚本を読む。勉強する。敬愛の念で仕事をすることが出来る。好きな人には金魚の糞になつて付いて行くことが出来る。

私の場合は、何より映画好きで、内田吐夢大明神がいて、相米慎二ガキ大将がいた前を向いて歩くことが出来た。

②自分の同時代のトップランナーを見つけて。自分の時代を担う優れた人達の応援回となり、仲間となる。

③継続は力なり。忍耐、我慢、辛抱。俳優が輝いていることを幸せに感じる人となることだ。

④肉体労働者。現場、第一主義。

「困った時の亀井(俳優)頼み」  
「速い、うまい、安い」  
「捌きの上手なカメさん」  
こんなニツクネームで、マネージャー嫁業が続いている。昨日も、今日も、明日もと歩み続けるだけである。昨日も、明日も、業界の繁栄のため、共存共栄、公平、寛容の精神で、生きてゆきたいと思う。

「私のマネージャー論」

理事 町田泉

「マネージャーの基本は、所属俳優の売り込みよりも、まず、自分を売り込む事だぞー」私が業界に入つて、初めて1人で外に出た時、先輩マネージャーはそう云つて私にマネージメントのイロハを教えてくれました。更に「所属俳優のキャラクターを覚えるのは勿論だが、ライバルの役者の名前と、キャラクターの幅と音質も、しっかりと覚えなければいけないぞー」アイスコヒーを飲みながら、それも教えてくれたのでした。それから私は台本を片手にスタジオに入り浸り、一人ずつの名前とキャラを覚え込んだのです。少し慣れてきてからは新人俳優達に、スタジオでモニターをした時に感じたことを、本人達にアドバイスをする様になつたのでした。その時から36年。私がマネージメントの基本とし、人と人が接する上で一番大切に思っている事。「気遣い、気配り、思いやり!」。これが基本中の基本だと思つています。そして、当時の事務所のボスからは、紫水会(現在の音声連)と日俳優連とで契約した、映画・動画の日本語吹き替え作品統一出演料の『実務運用表』(当時の出演料は制作会社によって違つていた)をレクチャーされ、出演作品に対する料率を、しっかりと叩き込まされたのです。

現在、多メディア、多チャンネル時代に突入し、同じ映画作品でも、メディアによつて全て料率が違つています。映画・動画の担当マネージャーは、今こそ、基本ラン

クに、割増しと料率を掛けた数字が出演料となる、その基本、原理をしつかりと覚える事が必要なのではないのでしょうか。これからは更に、モバイルに関する部分使用が増え、又、携帯サイトによる映画・動画の配信に対する料率を決める事で、ルールを守り目的外使用料をしつかりと徴収する事その為に、マネージャーとして役者を売り込み、チャンスを広げてあげる事。この事こそマネージャーの本質的な仕事であると考えています。

マネ協のオーディオ担当理事として、これからも尚一層努力して、マネージャーの地位向上の為、頑張る所存ですので、これからも何卒宜しくお願いします。あつ、そうそう。その先輩マネージャーからは、マネージャーとしての基本だけではなく、『駄ジャレ』も教えて貰つた事は、云うまでもありません。以上

「声優と共に歩んだ半生」

理事 江崎加子男

「アテレコ」この言葉を私はどうしても使わないし好きになれない。同時録音方式が無かつた時代、自分が出演した映像に、後で現像されたフィルムを見て自分の役に声を入れる。アフターレコーディング(アフレコ)これに対して、他人(主に外国人)が出演した作品に日本語で台詞を吹き替える(声を当てる)そこで生まれた言葉が「アテレコ」である。

舞台や映像で仕事がある役者はアテレコか?と言つて好んで出演しなかつた。どうしてもと要請すると、高い?キャラを要求した。又、出演しない理由はもうひとつあった。カラーフィルムにキズを付けられないにリハールは3回くらいしか見せられなかつた。したがって不器用なものはない。なか口が合わない。「トチラス」口を合わせるために台詞が一本調子になる。当時言われた言葉がアテレコ調。日曜洋画でNETのプロデューサーがソ

フィア・ローレンの吹き替えを或る劇団の女優さんに依頼したら、モンローやゲイリー・クーパー、ジョン・ウェインを吹き替えている人たちの三倍も要求されたと聞いた。当時キャスティングで同席して新人を売り込んだら、ディレクターから百パーセント保障するなら入れてやるといわれて、私が返した言葉は八十パーセントは保証するよ、するとディレクター氏「後の二十パーセントはどうするの?」そこで「その二十パーセントは演出力でカヴァーしてくれよ!」と煙にまいて入れてもらった。

又、或るディレクターは、朝十時スタートの作品で時間になつても来ない。当日は日曜日で会社は休み、スタジオの技師たちは誰もディレクターの自宅の電話を知らない。そこへ私が顔を出したところ、皆困り果てていた。私はフィルムを回してリハールを始めるように言い、ディレクターの自宅に電話をいれ、その電話で目覚めたディレクター氏はタクシーを飛ばし、やつと間に合つたことも有つたが、今では考えられないような変人?のプロデューサーがいて、朝十時になるとスタジオの内から鍵をかけてしまひ、理由の如何に拘わらずスタジオに入れぬ。又別のプロデューサーは画面の二人がベッドで横になつて話しているから、録音スタジオで横になつて吹き替えてくれと注文して役者が怒つたりと、今でも思い出せば笑つてしまうような録音現場の渦中にいた。

様々な出来事の中から学び、人脈を育み、学習していく。その一步一步の積み重ねこそがマネージャーへの道であると確信する。

「マネージャー論が見えてくる」

監事 岩淵佐津夫

「この商売、誠実さが何より。それと何だかんだ言つても役者に惚れなくちゃやっいていけませんよ」前田達男(三木のり平マネージャー)。

「俳優と言う字は、俳は人にあらず。優は人より優れる。心して接せよ」(田中四郎 田中事務所代表)

「お前たちはマネージャーなどと思うな。役者を売るセールスマンだ!」。『いい車に乗るな。いい服なんか着るな。お前達の後姿を見たら役者を思い出してもらえるようにしろ!』

(幹旋業免許第1号、綜芸幹旋部長・映画プロデューサー 柴田清一郎)

昨年出版された能村庸一著「役者のパートナー」マネージャーの足跡」からの抜粋です。何れも映画全盛時代からテレビ時代、そして劇団、プロダクション集団の分裂、新しい時代に立ち向かう先輩マネージャー達の言葉である。古参呼ばわりされる今日までマネージャー論と言うような事を考えた事はなかったが、先輩達の言葉を噛み締めると通じるものがある。

もう一つテレビ時代以前、マネージャーの元祖と言われる諸説に興味深いものがある。「5厘屋」「番頭」「支配人」そして「奥役」(関西でいう裏役)、何れも芝居の世界での役割ですが、江戸時代徹底したスターシステムの歌舞伎界にあつて、役者の執事、興行を円滑に進める役割でもあつた名奥役細井弥三郎の遺訓

○奥役は役者より賢く見えて悪し、彼奴は間抜けだな、と言われる位が頃合の処。

○お世辞は言うべし、ゴマすりは嫌いだと言う人。ほどゴマの効き目大なり。

○嘘は付くべし、憎まれるは損なり。

○常に役者の女房を神のように敬い、飼猫にも油断するな。

○怒りを忍ぶ時にはこれが商売の資本だと思ふべし。

クッスと吹き出しそうである。

マネ協として産声を上げて40年、紆余曲折、念願の法人化も実現した今、マネージャーとしての市民権を明確する為にも、考えてみる時期に来ているのかもしれない。能村庸一著役者のパートナー「マネージャーの足跡」、マネージャー論が見えて来る。

### <PRE通信 その3「放送の部分使用」>

映像実演権利者合同機構=略称PRE(プレ) 代表幹事 守屋 俊郎

PREは出演作品の二次使用料の徴収・分配の為にマネ協、劇団協、日俳連等の俳優関連団体によって設立された団体ですが、多くの委任プロダクションからの要請で各局・各制作会社の「放送の部分使用」の申請も受け付けています。プロダクションの要請の多くは写真使用で、所属俳優の顔写真をテレビ局がバラエティ番組等に無断で使用している、事前に連絡があった場合も使用料を支払ってくれることはほとんど無く、また、局制作のドラマやテレビ映画、劇場用映画・CM等の部分使用においても同様の取り扱いであったとのことでした。そこで民放連と協議の機会をもって後、在京5社を手始めに在阪局、名古屋民放局と順次に文書を交わしてルールを取り決めました。(その後、NHKとも部分使用についてのルールを取り決めましたが民放局と少し扱いが違いますので改めて触れることにします)しかし、取り決めた内容の多くは残念ながらプロダクションの要請に応えたものではありませんでした。協議の結果、写真やCM等の使用は肖像権となるがその扱いについては明確な顧客誘引力がない限り肖像パブリシティ権と認めがたい。局制作外のテレビ映画や劇場用映画は映画著作物でワンチャンスである以上申請すべきものにあたらぬ。民放連としてはプロダクションの要望とそれに応えようとするPREの主張は理解するが先ずは局制番組のみの部分使用の申請に限定したい。その後は情勢を見ながら話し合いを重ねて申請の拡大を図っていこうとの合意がなされました。これまで、何にせよ申請して許諾を得て使用料を払うといったルールが無かったなか、局制番組だけでも両者にとって明解なシステムが構築されたことは大きな前進であることは間違いありません。とは云え、最も要望の多かった写真使用とテレビ映画を申請対象にできなかったが故に、多くのプロダクションからお叱りを受けています。局がプロダクションから直接に許諾を得て使用料をうやむやにしようと言うのであれば、プロダクション同士が申し合わせて使用料規定を作成して使用料をキッチリ頂くか、そうでなければ許諾をしないとする、といった意見があり、それを実行しようとしていることは耳にしています。ですが、いま少しお待ちいただけませんか。現在、民放著作権部の方々と順次お話をしている最中です。局によってはPREの主張に理解を示してくださる方もありません。現在、部分使用料の支払いは各局の規定に従って、となっています。であるならば、ルールも各局対応と言う考え方もあるかもしれません。さらに交渉を重ねて参ります。PREは、実演家・権利者と局などの利用者の間にたって正当・公正な二次使用料等を徴収して分配・支払いを行う団体です。こと「部分使用」においては実演家と利用者の両者にとってよかれと信じてする独自の事業です。PREの存在がその両者から疎まれた時、PREは「部分使用」への介入は、即刻、止めるべきでしょう。プロダクションのすべてが申し合わせの使用料規定に従ってテレビ局と直接に許諾と使用料の交渉をすることになった時、テレビ局は、今まで以上にスムーズにして廉価なシステムとお考えあるかどうか。

#### 芸能ネットとは?

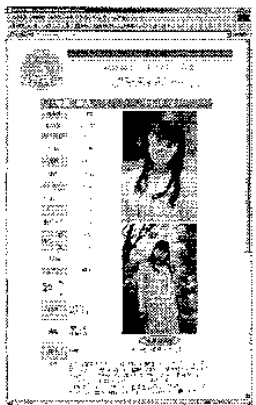
欲しい人材を誰でも自由に検索可能。当サイトが認定した業界内の方には、パスワード入力により詳しい情報を提供します。業界経験者・芸能関係事務所所属者のプロフィール掲載は無料(要審査・未経験者は有料)。プロフィール登録者に仕事の依頼があった場合は、依頼承諾の確認を取らせていただいた後、依頼主と登録者として直接取引をしていただくので仲介手数料は不要です。

#### 登録可能ジャンル

【実演家部門】俳優/タレント/声優/歌手/アナウンサー/キャスター/レター/DJ/パーソナリティー/レポーター/司会/モデル/ダンサー/演奏家/お笑いタレント/漫才師/ミュージシャン/声楽家/モデル/演芸家/舞踏家/パントマイマー/スタントマン ほか  
※【スタッフ部門】の登録もあり。 ※上記以外のジャンルでも登録可能。

#### お問い合わせ

株式会社 日本ナレーション演技研究所 インターネット事業部  
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-14-3/松田ビル1F TEL: 03-3372-5671



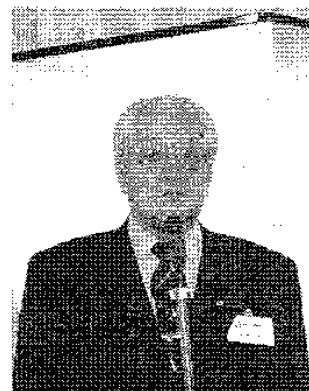
(登録例)

「芸能ネット」はインターネットを利用した芸能業界の総合名鑑。



遅れ馳せながら新年会の報告を致します。JR四谷駅1分の主婦会館ブラザエフ9階のパーティールームは見晴らしもよく程よい広さで、こんなスペースがあったのが!と思えるような好スペース。久保理事長の「新年挨拶」のあと、お料理を囲み、会員事業者・スタッフ会員同士の交流、歓談に花が咲き、楽しいひと時を過ごしました。参加者は146名に及び「新潟県中越大地震災義援金」も順調に進み元NHK会長・川口幹夫氏の著書販売の売上金も加算して107069円の募金を被災地に送ることが出来ました。当夜の新年会のために沢山の景品を提供してくださり、理事会より深く感謝申し上げます。

(記事・編集部松田、写真・事務局松田)



久保理事長による新年挨拶

松田副理事長の提案で、法人化を祝う「万歳三唱」

## 「2005年・新年会を開催」!

### きっかわ佳代さん。

テアトル・エコー所属  
舞台「病は気から」(モリエール作) テレビ「明智小五郎」(CX) アテレコ「ハロー! スーザン」等の出演歴を持つ爽やかなイメージの女優さんです。今回、司会進行のほか、「マネ協中越地震見舞募金」の募金箱を持って回り募金活動にもご協力くださいました。



募金倍増の秘訣は……?

■ マネ協・新年会に景品提供を頂きましたこと、理事会一同厚く御礼を申し上げます。

㈱アーツビジョン  
㈱AIMエンタープライズ  
㈱青ニプロダクション  
㈱アクセント  
アスク・マネージメント  
㈱岩淵ぐるうぶ  
ウィナー㈱[ういなかエンタテイメント]  
㈱エーエス企画  
㈱81プロデュース  
㈱エム・アール  
M.M.P  
㈱えりオフィス  
㈱円企画  
㈱大沢事務所  
㈱ケッケコーポレーション

㈱賢プロダクション  
㈱元氣プロジェクト  
㈱現代制作舎  
㈱ケンユウオフィス  
㈱三柱  
㈱オフィスCHK  
㈱シグマ・セブン  
㈱仕事  
ジーンズ・キャスト㈱  
㈱スターダス・21  
青年座映画放送㈱  
㈱テアトル・エコー  
㈱TABプロダクション  
㈱to-do  
東京俳優生活協同組合

㈱同人舎プロダクション  
㈱トリトリオフィス  
㈱中里事務所  
㈱ぶろだくしょんバオバブ  
オフィスP. A. C  
㈱劇団文化座  
㈱文学座  
㈱放映新社  
㈱マウスプロモーション  
㈱ムーブマン  
㈱メディアフォース  
㈱ゆーりんプロ  
㈱オフィス・ワット  
㈱ワンダー・プロダクション

# [マネ協・会員事業者リスト：113社/h.17年4月]

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p>           (株)アーツビジョン<br/>           (株)アイエス<br/>           (株)アムエンタープライズ<br/>           (株)青二プロダクション<br/>           (株)アクセント<br/>           アクターズ・カンパニー<br/>           (株)アクターズセブン<br/>           (株)アクターズプロモーション<br/>           アスク・マネージメント<br/>           (株)アドヴァンスプロモーション<br/>           (有)アルファエージェンシー<br/>           (株)アングルベイビー<br/>           (有)あんどろ<br/>           (有)イーアンドイー<br/>           イースプリング[(有)スタジオ藍丸]<br/>           (有)イジマルーム<br/>           声の劇団イマージュ<br/>           (有)岩淵ぐるうぶ<br/>           (株)ウイットプロモーション<br/>           (有)ヴィーヴ<br/>           ウィナー(株)[ういなあエンタテイメント]<br/>           (有)エーエス企画<br/>           (有)ぶろだくしょんA組<br/>           (株)81プロデュース<br/>           (有)エスプレイング<br/>           (株)エヌ・エー・シー<br/>           (株)エ・ネスト<br/>           (株)エム・アール<br/>           M. M. P<br/>           (有)エムカンパニー<br/>           (有)えりオフィス<br/>           (株)円企画<br/>           (株)大沢事務所<br/>           (有)大平プロダクション<br/>           落合事務所<br/>           劇団権<br/>           (有)オフィス薫<br/>           (有)活動屋         </p> | <p>           (有)キリンプロ<br/>           銀プロダクション<br/>           (株)クオレ<br/>           劇団グスタフ[(株)フェイス&amp;K]<br/>           クレイン・リバー[(株)アラカ・内内]<br/>           (株)黒沢良事務所<br/>           (有)ケッケコーポレーション<br/>           (有)賢プロダクション<br/>           (有)元氣プロジェクト<br/>           (有)現代制作舎<br/>           (有)ケンユウオフィス<br/>           (株)コスモスペース<br/>           (株)さち子プロ<br/>           (株)三桂<br/>           (株)CSRコーポレーション<br/>           (株)オフィスCHK<br/>           (有)ジェイ・クリップ[リベルタ]<br/>           (株)シグマセブン<br/>           (株)仕事<br/>           (有)シス・カンパニー<br/>           (株)ジズ<br/>           (有)スターダス・21<br/>           劇団昴<br/>           青年座映画放送(株)<br/>           (株)ソーラーカンパニー<br/>           (有)宝井プロジェクト<br/>           (有)田上事務所<br/>           (有)竹内事務所<br/>           (有)プロダクション・タンク<br/>           (株)テアトル・エコー<br/>           TAG(東京アナウンス学院)<br/>           (有)TABプロダクション<br/>           D・R・A[(株)放送表現教育センター]<br/>           (株)ディー・オー・エー<br/>           (株)オフィス・テン<br/>           (有)t o o d o<br/>           (有)東京芝居倶楽部<br/>           東京俳優生活協同組合         </p> | <p>           (株)同人舎プロダクション<br/>           (株)劇団東俳<br/>           (株)オフィス・トクヒロ<br/>           トム・プロジェクト(株)<br/>           (有)トリトリオフィス<br/>           (有)中里事務所<br/>           (有)劇団21世紀FOX<br/>           (有)劇団俳優座<br/>           (株)ぶろだくしょんバオバブ<br/>           オフィスP. A. C<br/>           プランニングメイ(有)<br/>           (株)古館プロジェクト<br/>           劇団文化座<br/>           (株)文学座<br/>           (株)放映新社<br/>           (株)宝映テレビプロダクション<br/>           (有)劇団朋友<br/>           (株)舞プロモーション<br/>           (株)マウスプロモーション<br/>           (有)オフィスまとは<br/>           (有)ミズキ事務所<br/>           (株)劇団民藝<br/>           (株)ムーブマン<br/>           (有)ムーンライト企画<br/>           (有)プロジェクト・メガリス<br/>           (有)メディアフォース<br/>           (株)矢島聡子事務所<br/>           (有)山田栖峯子事務所<br/>           (株)ゆーりんプロ<br/>           (株)ヨコザワ・プロダクション<br/>           (有)5イーズ(株)カバニ田畑富久子事務所<br/>           (株)ラヴァンス<br/>           YAG(代々木アニメーション学院)<br/>           (株)若プロダクション<br/>           (株)劇団若草<br/>           (有)オフィス・ワット<br/>           (有)ワンダー・プロダクション         </p> |
|--|--|--|

## 賛助会員一覧

(2005年4月現在)

- <法人>** (株)NHKエンタープライズ21  
 (株)オセロット  
 紀伊國屋ホール  
 (株)C. A. L  
 松 竹(株)  
 松竹京都映画(株)  
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京  
 (株)東京演劇音響研究所  
 (株)TBSテレビ  
 (社)日本劇団協議会  
 日本テレビ放送網(株)  
 (株)俳優座劇場  
 (株)フジテレビジョン

- <個人>** 岡本富士太 山岸 伸

## 【賛助会員】加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

# MOVEMENT REPORT

## <2004年11月>

9日 有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会、設立社員総会(マネ協)

//

設立理事会(マネ協)

## <2004年12月>

6日 NHKランク回答(NHK)

8日 二者[マネ協・日俳連]オーディオ会議(日俳連)

14日 PRE常任幹事会(PRE)

// 常務会・第157回定例理事会  
(テアトル・エコー)

28日 マネ協事務局、仕事納め

## <2005年1月>

6日 マネ協事務局、仕事始め

11日 有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会、設立

// 常務会・第1回定例理事会(マネ協)

12日 新年会打ち合わせ(主婦会館プラザエフ)

14日 PRE常任幹事会(PRE)

19日 新年会(主婦会館プラザエフ)

21日 芸団協・芸能花伝舎、見学

24日 常務会(マネ協)

25日 NHK・三者会議(日俳連)

26日 芸能花伝舎・施設管理委員会(芸団協)

28日 オーディオランクを音声連へ提出

## <2005年2月>

2日 芸団協より労災問題に関する説明(芸団協)

8日 常務会・第2回定例理事会(マネ協)

10日 スカウトオーディション打ち合わせ(文学座)

14日 PRE常任幹事会(PRE)

16日 PREセミナー11回(PRE)

## <2005年3月>

3日 四劇団付属研究所卒業生スカウトオーディション(恵比寿エコー劇場)

8日 常務会・第3回定例理事会(マネ協)

14日 PRE常任幹事会(PRE)

17日 「地位向上」意見交換会(芸団協)

18日 「運用表(暫定版)説明会」打ち合わせ(マネ協)

29日 「運用表(暫定版)説明会」

(水道橋・貸会議室内海)

### マネ協役員選挙の実施

マネ協は今年1月11日に中間法人となりました。現在の理事、監事の役員構成は、旧マネ協の役員がそのまま引き継がれています。旧マネ協の任期はまだ一年間残されておりますが、法律上一期目の役員は、最初の事業年度決算に関する総会終了をもって任期を終える事になります。よって現役員体制は、5月27日の社員総会となるので、役員選挙を実施します。今後、マネ協の活動も更に活発となってゆくと思われまますので、社員の皆様方にもより一層の御協力をお願い致します。

### 有限責任中間法人 日本芸能マネージメント事業者協会 第二回定時社員総会の開催のお知らせ

- 日時 平成17年5月27日(金) 16時から18時
- 場所 NHK青山荘
- 議題 ①事業報告、並びに各委員会報告と方針。  
②決算報告、並びに監査報告。  
③予算案承認の件。  
④役員改選の報告と承認。  
選挙管理委員会報告。

## マネ協新加入事業者の紹介

### 劇団グスタフ [株]オフィスK&K

〒201-0002  
東京都狛江市東野川  
1-5-17

TEL: 5497-6996  
FAX: 5497-6996



代表者  
抱 晴彦



社員代表  
南 富貴子

#### 【退会事業者】

- ・術サニープランニング
- ・株東京乾電池オフィス
- ・モアナ・ファクトリー

### 説明会



3月29日水道橋にて、オーディオ部会『運用表(暫定版)説明会』が実施されました。(参加42社60名)

### 編 集 後 記 VOL.20

新年号の会報を桜咲く頃に刊行する愚鈍さをご容赦願いたいと思います。

暇を貰いリハビリの湯治治療に行ってきました。郷里の宮城と山形の県境の山深い湯治場は雪に埋もれていて、県境の国道を除雪車が豪快に雪を十数メートルも跳ね飛ばし、除雪していく様子を我を忘れてボー然と眺めていたら、危うく自分まで除雪されてしまいそうになり脱兎の如く逃げて一命をとりとめ、己の俊敏さを再認識し、安堵したものでした。

今回は法人化記念特集として『理事が語る私のマネージャー論』を編んでみました。ミーティングなどにも引用し、社内勉強会等にご活用ください。

編集長兼編集部員・松田咲實

社員総会終了後、恒例の懇親会があります。

マネ協法人化後、最初の社員総会、懇親会ですので多数の参加をお願いします。また、法人化されたマネ協への建設的な意見、主張を理事会へお寄せ頂くようお願い致します。

私達マネ協を取り巻く環境は、昭和46年に新著作権法が出来てから34年経ち、ニューメディアの発達で、想定をしていない事態がたくさん起こり、業界の様々なルール作りが迫られています。

これからのマネ協の進むべき道について、社員事業者の皆様との建設的なご提案をお待ちしております。



# マネ協

題字 杉村 昭子

有限責任中間法人  
日本芸能マネージメント事業者協会  
〒160-0022 東京都新宿区新宿  
1-24-7 ルネ御苑プラザ 309  
TEL. 03 (3225) 5984  
FAX. 03 (3225) 5949  
E-mail: manekyo@manekyo.com  
http://www.manekyo.com

■発行日 平成17年9月5日  
■発行人 久保 進  
■編集人 松田 咲實  
■印刷 谷本 企画

## M A N A G E M E N T R E P O R T

### マネ協 社員総会報告

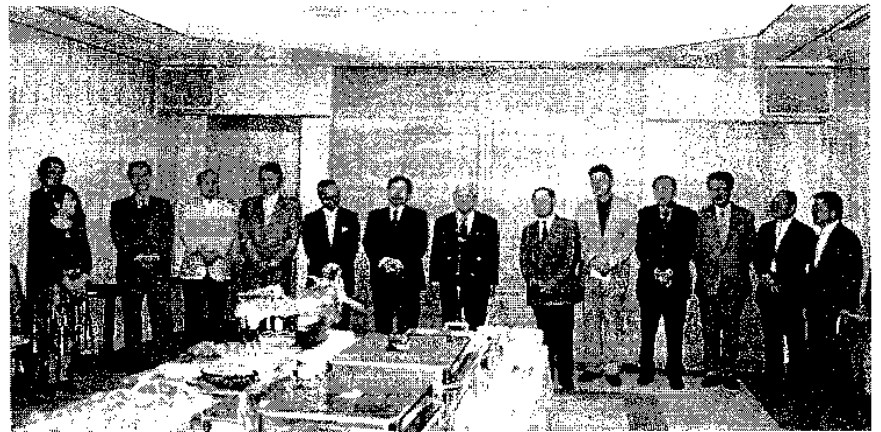


閉会の挨拶をする  
山崎副理事長

平成17年5月27日、NHK青山荘にて法人化後最初のマネ協社員総会が開催されました。出席37社・委任54社の計91社で総会成立となり、新役員承認など議事も滞りなく終了致しました。尚、本総会にてマネ協の英語名称の提案と承認がなされました。これによりマネ協の英名は「Japan Entertainments Management Entrepreneurs' Association」となります。又、総会終了後には懇親会が開かれ、各局や関係団体の方も含め92名の方々が参加されました。

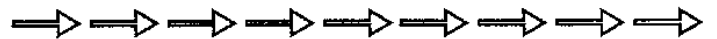


久保理事長による挨拶



今総会で承認された新理事会メンバー（一名欠席）

## 『事務局が移転!』



マネ協の事務局として、長らく活動の拠点となっていました「マネ協事務局」が8月から新オフィスに移転いたしました。従来の事務局から直線距離で100m足らずの場所に手頃な賃貸オフィスがありましたので、常務会が視察の上決定して8月初旬に引越しを済ませました。お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りください。

新  
住  
所

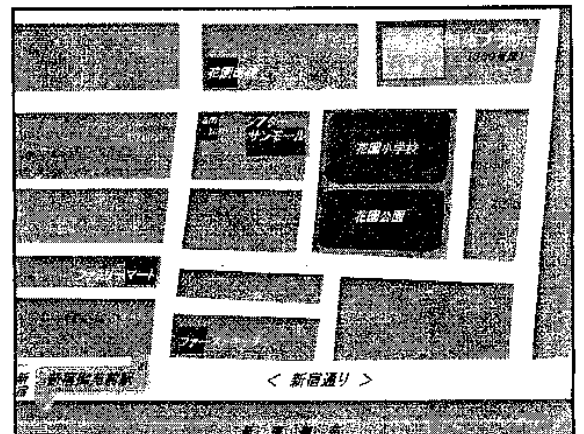
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-24-7  
ルネ御苑プラザ309

TEL: 3225-5984

FAX: 3225-5949

Eメールアドレス：  
manekyo@manekyo.com

●住所及びメールアドレスが変更になりました。  
尚、ご訪問の際は1階インターホンで309号室を呼び出して下さい。



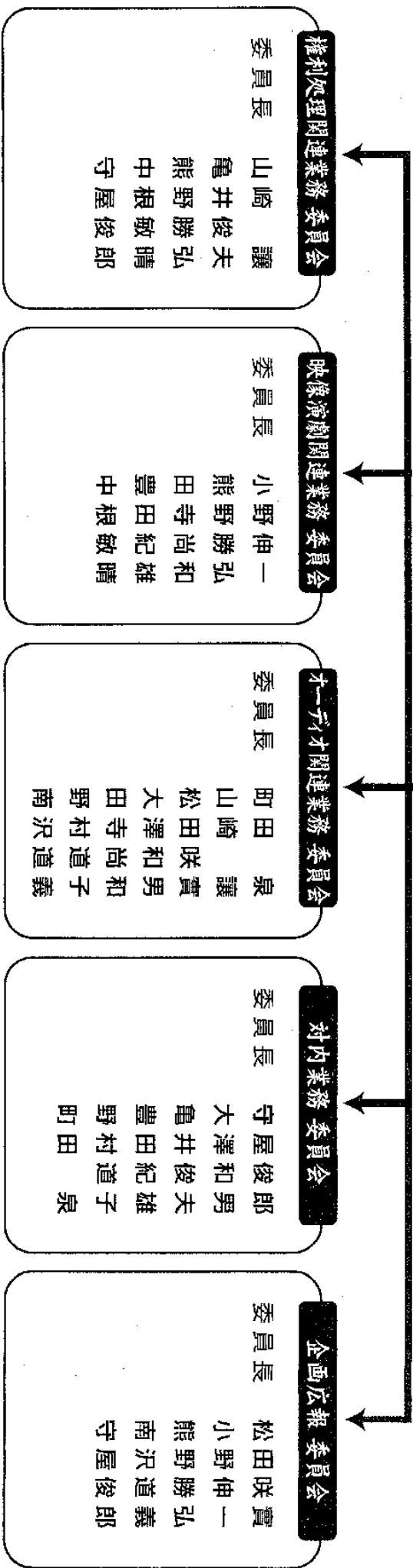
# 有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会 担務

※新理事会はその任務が偏らず  
極力公平に分散するように適  
性や専門分野を考慮して担務  
を決定しました。

**常務会**

理事長	久保 進
理事	山崎 讓
理事	松野 実一
理事	小野 伸二
理事	野田 梅
副理事	相談役

**拡大常務会**  
常務会十名委員長



★各理事就任の挨拶

# 「私の抱負」

前頁にてお知らせのように新理事会の胆務が確定して新法人のマネ協の航海体制が整いました。そこで各理事の皆さんに抱負を語っていただきました。(編集部)

理事長 久保 進

「理事長就任にあたって」

「有限責任中間法人日本芸能マネージメント事業者協会」として悲願であった法人化もやっと実現して、社会的にも責務を負った団体の理事長として再度復帰する機会を社員(会員事業者)の皆様より頂戴し、理事会の互選においても復活の命を受け、非力ながら再び理事長職をお受けする決意を固めたところで御座います。私共はまだまだ世間に向かって主張すべき点がありますし、業界団体としての意向を発信していかなければなりません。私共が所望する俳優の代理人、弁護人として、関連団体とも連携しつつ俳優の出演条件の改善に努めていかねばなりません。マネ協創立の基本理念に立ち返り、芸能マネージャーという職業の社会的信用と信頼を確固としたものにして、この職業の社会的地位の向上に努めることもマネ協の重要な役目と認識しています。これらのことを実現していくには、会員事業者のみならずのご理解とご協力が不可欠になることは言うまでもありません。マネ協を益々発展させるために会員事業者の皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

副理事長 山崎 譲

法人になった事により、会員の皆様から、より一層必要と思える、又、信頼、信用される、マネ協体制作りをしたい。

進化するハードに対し、映像分野における、二次利用の徴収、分配を、CPRRA、PREと

協調しキチント確立していきたい。テレビ映画の作品について、前向きに映連、ATPと話し合いを進めたい。

各分野(舞台、映画、テレビ、音声)の現場において、実演家が、より良く働く事のできる環境作りを積極的に話し合いたい。

副理事長 松田 咲實

私は今期で5期目の副理事長を仰せつかることになりました。5期10年という長きに渡る副理事長職がやってこられたのは我々の職業の社会的地位の向上を目指すという崇高なる目標があればのことです。当然のことながら役職上、理事長を支え、片腕となれるように誠心誠意頑張るしかないというのが私の抱負です。併せて企画広報委員会の委員長も兼務する訳ですが、教宣活動も重要なこの業界にあつてはその重責を認識しつつ「会報」の発行にも力を注がねばと思う次第です。「旬」な情報を会員事業者に一刻も早くお届けできるように会報編集にも重点を置きたいと思っております。会報は会員事業者皆で創るものという認識で取り組みたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

我々の組織を業界内でもっと発言力のある団体になりたいと思います。音事協のように必要なことを業界内で主張し貫いていける団結力と折衝能力のある、又その裏づけのある団体に育て上げたいと思っております。その為には組織の知名度を上げていくことも不可欠だと思います。又気軽に遊びに来られる雰囲気、事務局造りも心がけたいとおもいます。

副理事長 小野 伸一

「私の思うこと」

法人化されて初めての理事改選です。私も副理事長をを拝命し、身も引き締まる思いです。また担務の名称は変わりましたが、引き続き「映像演劇関連業務委員会」を受け持つことになりました。宜しくお願致します。

今までの委員会では出演料の不払いや仕事上のトラブル、映像の二次利用の研究などに対応してまいりましたが、それだけでなく積極的にマネージャーの仕事にプラスになるようなことも考えたいと思います。(これは委員の1人である熊野理事と話して二人して膝を打ったのですが)若いマネージャーに対してのセミナーです。例えば映像関係で言えば、各テレビ局のプロデューサーやディレクターを迎え若手マネージャー達との懇談会を催すとか、普段仕事を通してしか知り合えない人達と若干先輩である我々が友人であるプロデューサーをお願いしてそのような橋渡しの場を設けることができればと思います。また商業演劇のプロデューサーを招いて、商業演劇での常識など、なかなか人にはきけない話を聞くなど、色々考えられます。それはまた以前の号で先輩マネージャー各氏が書いていた「人が財産である」と言うことを、微力ではあります。若きマネージャー諸君に実践してもらえないのではないかと思っています。そうやって少しでも社会的に責任のある仕事をして頂きたいと思っています。マネージャーという職業を、社会的に少しでも認識して頂きたいと思う毎日です。

理事 大沢和男

このたび理事に選任させて頂き、新たな責任を感じるところであります。

今、急速な進化の中で発展を遂げている新メディアへの対応、二次使用の問題等を含め権利処理に対する知識を深めていかなければならないと思っております。俳優の権利、そしてマネージメントスタッフの地位向上を図りたいですね。マネージャーと言う仕事は一般的に地味な仕事と言われ、我々声優業界内では地位も時に低く見られ、働くスタッフ、マネージャーが将来に希望が持てるような環境作りを目指したいと考えます。

理事 亀井俊夫

昭和45年日本芸能マネージャー協会(個人参加)が産声をあげてから今年で35年になります。マネ協創立35周年の記念すべき年にマネ協法人化を実現できた事は大変喜ばしい事だと思えます。

これでマネ協は社会的に認知された存在となり新たな出発点となりました。法人格を持つ事により社会的信用を得て「団体契約」の法的な当事者になったのです。

今後はNHK、民放局や音声連、製作者団体との団体契約を結ぶ事が出来るようになりましした。

マネ協は、マネ協会員事業者に所属する6千名の俳優やマネージャーの声を取り上げて社会的に認知された団体としてようやく組織として物を言う時期になったと言えるでしょう。

私たちマネ協を取り巻く環境は、昭和

46年新著作権法が出来てから34年経ち、ニューメディアの発達で想定していない事態がたくさん起こり、様々な諸問題があります。

また映像関係では、同じテレビドラマ作品にも拘らず、局制作の作品は二次使用料が発生しますが、下請け制作会社の作品は買い取りシステムで二次使用料を貰う事が出来ないというワンチャンス主義となっており、大きな問題となっております。

私は、マネ協が、業界の繁栄と実演家の利益のために、共存共栄の精神で、関係諸団体と協力して、業界の健全なルール作り、積極的な役割を担う事が重要だと考えています。

今回のマネ協法人化によって、大いなる河の流れになってゆくと感じます。

理想を掲げ、大きな目標を持って、あせらず、着実に、一歩ずつ歩いてゆきたいものです。

今期も縁の下の役割を果たして、諸問題に取り組みたいと思えます。

理事 熊野勝弘

劇場に芝居を観に行くのとロビーにチラシが置いてある、常時100枚近くは有ると思う。つまりそれだけ多くの劇団プロダクション等が芝居をしているということになる。ただこの100枚近くの芝居に出ている俳優達のどれぐらいが生活できているのだろうか。アルバイトをしながらでも芝居が好きでやめられないという人達が沢山いる。この俳優達を何とか食べるようにしてあげたい。その為にはマネージャーとして何をしなければならぬのか。役者はその存在を知らなければ生きていけないのも一緒だ。私はこ

こに生きて頑張っているんだ、何とか私をみて欲しい。この思いをどう伝えればいいのか。私は今、著名な作家が主宰するシナリオトークというのうちの俳優を参加させている。新人作家とそこに参加する俳優達に業界のプロの人達にみてもらって人材を発掘してもらいたい。それにはまず実践しなければいけません。それから、このシナリオトークが生まれたという。一生懸命地道に頑張っている俳優達、マネージャーとして一人でも多くの仕事の場が欲しいと願うばかり。そのため理事として何かできることはあるか、思案中である。

理事 田寺尚和

今期私は映像演劇関連業務とオーディオ関連業務の担当理事を仰せ付けられました。

オーディオ関連業務については、この度日本アニメの裁判も日俳優勝訴となり、俳優の権利が次第に明確化し、これを機にさらなるメディアの多様化にも対処すべく行動をおこす気運になってきています。それに比べてテレビ映像作品では未だに制作会社が制作したものは映画著作物であるというような旧態依然の論理がまかり通っている状況です。テレビ映像作品についてもメディアが変われば、それは全く別の商品であるということをや業界全体で認識することから始めなければなりません。

私たちは常にアンテナを張り巡らせて、これから開発されるメディアも含めて、対処できる基盤を作り、俳優の権利を守るべく行動しなければなりません。そのためには皆さんとの情報の交換が必要不可欠だと思えます。未知、あるいは既に開

発されているがあまり知識が無いというようなメディアに向かって対策を考えるというのには、容易なことではありません。小さなことでも結構ですので、是非皆さんのご意見を寄せて頂けますようお願い致します。

理事 中根敏晴

担務は権利処理関連業務・映像演劇関連業務委員会です。

さて権利問題は山積みですが、どうしても避けて通れない問題の1つが、皆さんご承知の通りの著作権法に守られた映画会社にとって実に都合の良いワンチャンス主義です。勿論、現在のそのようなメディアの多様化を考えてつくられた法律とは到底思えません。当然それなりに変えて然るべき法律なのです。しかしながら世の常として、倫理的には分かっているにも損する側は徹底的に抵抗するものです。ところで理事会の中に「T.V.番組の二次利用を考える委員会(二次利用の会)」という委員会が発足されました。これは前述の映画会社の問題の前に先ず、テレビ局側に局制作以外でもテレビで放映するものについては二次利用を払うべきではないかというものです。これは実に当たり前の話なのですが、未だもって話されたことはありませんでした。人は自分にとって都合の良い事は、それがおかしなことでも思ってしまうものです。だからこそ言い続けなければなりません。この問題はまだ入口に入っただばかりかも知れませんが、一歩一歩、コツコツとやるしかないと思っております。

他には文化庁主催の「出演契約基本問題研究プロジェクト」に委員として参加してあります。

担当理事 野村道子

「理事と云う役を戴いて」

声優として45年余り、今年3月26年間にレギュラー出演した「ドラえもん」を退き、30年出演した「サザエさん」を降番して、一足の草鞋を脱ぎました。両肩の荷物も降ろそうかなと思っていた矢先、久保理事長から理事に推薦したとの電話を受けて一瞬肩の荷がぐっと重くなりました。マネ協の一員となつて22年、少しでもお世話になつた恩返しが出来たらお役に立ちたいと改めて思いました。115社加盟の事業者協会ですが1/3は女性事業者の方です。女性事業者の立場で考えられる事や日頃思い通りにいかない事等、そのお手伝い出来るなら、意義があるかなと自分を励まし、年齢と共に緩くなる思考回路に歯止めをかけるべく努力しようと決意しました。

会議の度に新しい議題が提起され、その都度決議するスピードについていくのはなかなか大変です。それにしてもまあ次から次へと問題が派生し、会議への招集の頻度も増してきて緊張します。仲々モードの切り替えが上手くいかなくて迷惑をかけていますが頑張つて行こうと思ひます。理事の皆様よろしくご指導の程お願い致します。そして彼女(私の事です)に務まるなら、いづれ私もと以後数多くの女性理事が誕生する事を願っています。

理事 町田 泉

マネ協は「有限責任中間法人」として、新体制がスタート致しました。私は前回の理事選では、惜しくも次点となり当選

はできませんでした。しかし、新理事会の強い要請を受け、推薦理事として一期二年引き続きオーディオ関連を担当させて頂くことになりました。どうぞ宜しくお願いします。

昨年は、ムービーテレビジョン(株)の民事再生法適用による、出演料支払いに関する折衝。又、日本アニメ裁判に関しては、2002年9月に原告側日俳連弁護士事務所において、業界における商取引の説明と、「外面動画実務運用表」の重要性を陳述し、マネ協の立場を明快にアピール致しました。6月27日、最高裁は、被告側の上告を棄却。これで原告側の全面勝訴が確定しました。今回の裁判で特筆すべきは、「外面動画実務運用表」が業界の商取引におけるルールであり、云わば契約書である事を、国が認めた！という点だと思ひます。この事は私が常日頃から、「運用表」が全てであり、云わばダブルであるという事を云い続けてきた事に対し、国が証明書を発行してくれたという事に他なりません。その為にも、一日も早く、「新実務運用表」の締結と実施、そして、会員社への配布をする事が急務だと思ひています。更に、運用表の基となる「外国映画日本語吹替版に関する覚え書き」「アニメーション作品出演に関する協定書」の説明をオーディオ部会開催の中で、「何故、作品登録」が必要なのか？をレクチャーする必要があると考えています。この根本問題を各会員社に浸透させる事が第一の担務だと思ひます。更に、CS特別規定の見直し、NHK・BS料率の見直し、モバイル関連の使用に関する新料率の設定、新人登録制度の見直し等々、問題は山積みとなっております。一つずつ解決して行く為にも、会員各社全体の協力が必要だと思ひます。どうか今後共、宜しくお願い申し上げます。

理事 南沢道義

私たちは「何故マネージメント」の仕事をして居るのだろうか。若いスタッフに問い掛けてみると、「好きだから……」かかなりの高い確率で、この答えが返ってくる。新入社員の募集を新聞、求人誌、インターネット等、様々な媒体で行いますが、面接の最終決まらな、脳裏を駆け巡るキーワードは「何故マネージメント……」。実は自分に明快な答えは無い。マネージメントの醍醐味である、大きなビジネスチャンスをもモノにする面白みも十分承知して居るし、若いスタッフ、キャストの育成にも多大な関心が有る。考えてみれば、30年前、自分をこの仕事に採用してくれた恩人の大手プロダクション社長に、マネージメント稼業の面白さを伝授して戴いた事が、大きな支えとなつて居る。今でも親切丁寧な、そして豪快なご指導に、感謝すると共に感謝の気持ちで一杯である。

昨今、出演業務はメディアの激しい変化、荒波に揉まれ様変わりが続けて居る。日本語版製作のマネージメントに関わる正体は、荒唐無稽なビジネスでなく、真摯な文化論では無いだろうか。マネ協の法人化に伴い、祝賀一色の文面が並ぶのではありませんが、05年夏の夜、そんな事が気になる。混雑した業界に象徴される、制作側と出演者側の出演条件を巡る溝。多様化するメディアに対応する、新ルールの誕生……急務です。我々は、諸先輩の築いたレールの上を、無意識、無感動で走っていないだろうか。青年部会の活発な活動、期待しています。

理事 守屋俊郎

縁の下に定着

1993年に文学座、円企画と手を携えるが如く一緒にマネ協に加盟いたしました。その翌年の選挙で前述2劇団とともに理事に選出され、加盟間もないにも拘らず我々3劇団への期待の少なくないことをヒシと感じ、選んで下さった方の期待を裏切ることなくマネ協の未来のために力を尽くそうと梅田濠二郎(前理事長)さん、山崎謙(現副理事長)さんと真剣に語り合ったことを、つい先日のことのように思い出されます。

11年を経た今、語り合った我々の思いは尚も揺るぎなく継続していると自負しています。梅田さんは昨年、後進へ道を譲るとして前もって理事長再任を辞し、現在は理事相談役として私どもの良き助言者になっていきます。山崎さんは副理事長として梅田体制による法人化および独自事業の推進、確立に松田副理事長とともに支え続け、現在は久保理事長の総指揮のもと副理事長としての職務に全力を傾けています。さて私は、マネ協から担当の理事として15団体から成るPREの設立に参加し、現在は代表幹事に選任されてその職務に日々追われているが、最も多数の委任者を擁しているのがマネ協であつてみれば、私としてはマネ協業務をこなしているに等しい。そしてまた今期も私は、会社で言うところの総務とも言うべき对内業務委員会を担務することになった。年々増えて200人近い加盟社社員が受診している健康診断をはじめ、研修会、新年会、ピアパーティ、未払い社対応処理……と、何でもありだが、かつてあつたという久保理事長提案の苦情相談室も献立に加えるべきだろうと考えている。自身そうは思っていないのだが、縁の下で支える役目が私には似合うらしい。そこら辺の役どころが、いつしか私に定着してしまつたようだ。あえて反論はするまい。ご期待にお応えするのみだ。

# <PRE通信 その4> 事務局からご報告

事務局 平井和夫

## 1. PREセミナーのご案内

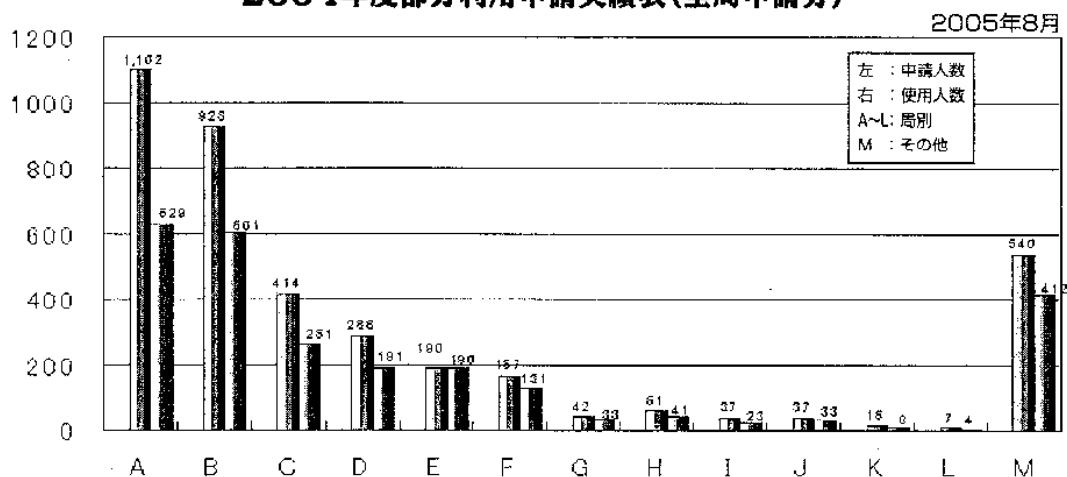
PRE第5期(16年9月~17年8月)のPREセミナーはCPRA共通目的基金の助成を受けてマネージャーの方々を対象に、恵比寿エコー劇場で2回、PRE会議室及び芸能花伝舎で7回の計9回実施し、参加者の合計は361名でした。参加されたマネージャーの方々からは「芸団協、CPRA、PREの位置付け、役割の概要が概ね理解できてきた」、「契約交渉の際に必要な著作権の基礎知識を理解でき現場での実務に生かすことが今まで以上に可能になってきた」、「個人情報保護法案に対する基礎知識を理解でき現場での実務に生かすことが可能になってきた」などの声が寄せられています。PREセミナーに関するご要望をPRE事務局宛にどしどしお寄せください。お待ちしております。

開催回数	開催	開催場所	テーマ	合計
8	16/9/15	PRE会議室	放送番組制作・流通における権利処理の実態と課題(元*朝日/高橋英夫様)	33名
9	16/10/15	PRE会議室	条文で読み解く実演家の権利(TBS元* /日向央様)	21名
10	16/11/16	PRE会議室	テレビ番組をめぐる諸権利問題(元*元* /千葉晋也様)	28名
11	16/12/6	恵比寿エコー劇場	コントで学ぶ俳優の権利・基礎の基礎(藤原弁護士)	50名
12	17/2/16	PRE会議室	実演家の肖像権の基礎と俳優協会の権利処理(日本俳優協会/浅原様)	32名
13	17/4/18	恵比寿エコー劇場	これで万全!!個人情報保護法」対策(Field-R 法律事務所/金沢弁護士)	88名
14	17/5/25	芸能花伝舎	放送番組制作・流通における権利処理の実態と課題(元*朝日/高橋英夫様)	33名
15	17/6/22	芸能花伝舎	放送出演マネージメントの実際(NHK/梶原均様)	39名
16	17/7/29	芸能花伝舎	今CMに何が起きているか!(元*電通/峯川 卓 様)	37名

## 2. 映像等部分使用の申請状況および今後の課題

映像等部分使用は「過去に放送した放送番組の実演の録音・録画物の一部」を、これから放送する放送番組の中で部分的に使用するものです。また利用者とのPRE間の業務の流れは「放送局、制作会社などの利用者からPRE宛の申請(OAの10日前まで)」に始まり、「PREから権利者宛の許諾確認」、「PREから局宛の許諾回答」、「局からPRE宛の使用料支払」に終わり、一連の業務が完結いたします。2004年度の申請状況は、申請人数が3,829人、そのうち実際に使用したのは2,558人で、使用率は67%でした。利用者からの使用料は30,107,550円で皆様方には既にお支払いを完了しました。今後の課題として、使用率が67%と当初予想より大幅に悪い、使用料が局別に2~3倍のばらつきがある、10日前申請が守られておらず放送直前の申請があまりに多い、申請範囲の拡大(写真、局外制作、CM)などがあります。PREは今後も利用者側と粘り強く交渉を継続していく必要がありますので、皆様方のご協力をお願いいたします。

2004年度部分利用申請実績表(全局申請分)



### PRE代表幹事 守屋俊郎

これまで、担当理事でもある私がPREについてご報告してきましたが、今回は事務局からご報告しました。申し上げるまでもなくPREの最も大きな仕事は二次使用料の徴収分配です。それを適正かつ的確に行いつつも、平行してPREが力を注いでいるのは、マネージャーの皆さんを対象とした著作権隣接権等に係るセミナーと、映像の部分使用の許諾業務です。この二つの業務は、いずれもPRE事務局が事務所の方と日常的に接触できる数少ない業務です。セミナーにはまだまだ多くの方々に参加して頂きたいし、部分使用に関しては互いの協力関係をさらに築いて、ややもするといひ加減に対応しがちな局に対して、対抗措置も考えていかなければなりません。日常の接触の中で、少しでも解決の糸口を探ることができれば幸いです。今後とも本機構へのご協力をお願い申し上げます。PREは皆さんの権利処理を適正かつ的確に行い、徴収分配をする団体です。

# 【マネ協・会員事業者リスト：115社／h.17年9月】

- |                       |                      |                     |
|-----------------------|----------------------|---------------------|
| (株)アーツビジョン            | 銀プロダクション             | (株)オフィス・トクヒロ        |
| (株)アイエス               | (株)クオレ               | トム・プロジェクト(株)        |
| (株)アイムエンタープライズ        | 劇団グスタフ[(株)オフィスK&K]   | (有)トリトリオオフィス        |
| (株)青ニプロダクション          | クレイン・リバー[(株)ラガ・内]    | (有)中里事務所            |
| (株)アクセント              | (株)黒沢良事務所            | (有)劇団21世紀FOX        |
| アクターズ・カンパニー           | (有)ケッケコーポレーション       | (有)劇団俳優座            |
| (株)アクターズセブン           | (有)賢プロダクション          | (株)ぶろだくしょんバオバブ      |
| (株)アクターズプロモーション       | (有)元氣プロジェクト          | オフィスP.A.C           |
| アスク・マネージメント           | (有)現代制作舎             | (有)ビーボ              |
| (株)アドヴァンスプロモーション      | (有)ケンユウオフィス          | プランニングメイ(有)         |
| (有)アルファエージェンシー        | (株)コスモスペース           | (株)古館プロジェクト         |
| (株)アンクルベイビー           | (株)さち子プロ             | 劇団文化座               |
| (有)あんど                | (株)三桂                | (株)文学座              |
| (有)イーアンドエー            | (株)CSRコーポレーション       | (株)放映新社             |
| イスプリング[(有)スタジオ藍丸]     | (株)オフィスCHK           | (株)宝映テレビプロダクション     |
| (有)イジマルーム             | (有)ジェイ・クリップ[リベルタ]    | (有)劇団朋友             |
| 声の劇団イマージュ             | (株)シグマセブン            | (有)プロ・フィット          |
| (有)岩淵ぐるうぶ             | (株)仕事                | (株)舞プロモーション         |
| (株)ウイットプロモーション        | (有)シス・カンパニー          | (株)マウスプロモーション       |
| (有)ヴィーヴ               | (株)ジズ                | (有)オフィスまとば          |
| ウィナー(株)[ういなあエンタテイメント] | (有)スターダス・21          | (有)ミズキ事務所           |
| (有)エーエス企画             | 劇団昴                  | (株)劇団民藝             |
| (有)ぶろだくしょんA組          | 青年座映画放送(株)           | (株)ムーブマン            |
| (株)81プロデュース           | (株)ソーラーカンパニー         | (有)ムーンライト企画         |
| (有)エスプレイング            | (有)宝井プロジェクト          | (有)プロジェクト・メガリス      |
| (株)エヌ・エー・シー           | (有)田上事務所             | (有)メディアフォース         |
| (株)エ・ネスト              | (有)竹内事務所             | (株)矢島聡子事務所          |
| (株)エム・アール             | (有)プロダクション・タンク       | (有)山田栞峯子事務所         |
| M.M.P                 | (株)テアトル・エコー          | (株)ゆーりんプロ           |
| (有)エムカンパニー            | TAG(東京アナウンス学院)       | (株)ヨコザワ・プロダクション     |
| (有)えりオフィス             | (有)TABプロダクション        | (有)ライオン・カバニ田畑富久子事務所 |
| (株)円企画                | D・R・A[(株)放送表現教育センター] | (株)ラヴァンス            |
| (株)大沢事務所              | (株)ディー・オー・エー         | YAG(代々木アニメーション学院)   |
| (有)大平プロダクション          | (株)オフィス・テン           | (株)若プロダクション         |
| 落合事務所                 | (有)t-o-o             | (株)劇団若草             |
| 劇団権                   | (有)東京芝居倶楽部           | (有)オフィス・ワット         |
| (有)オフィス薫              | 東京俳優生活協同組合           | (有)ワンダー・プロダクション     |
| (有)活動屋                | (株)同人舎プロダクション        |                     |
| (有)キリンプロ              | (株)劇団東俳              |                     |

## 賛助会員一覧

(2005年9月現在)

- <法人> (株)NHKエンタープライズ21  
 (株)オセロット  
 紀伊國屋ホール  
 (株)C.A.L  
 松竹(株)  
 松竹京都映画(株)  
 (株)テレビ朝日

- (株)テレビ東京  
 (株)東京演劇音響研究所  
 (株)TBSテレビ  
 (株)日本劇団協議会  
 日本テレビ放送網(株)  
 (株)俳優座劇場  
 (株)フジテレビジョン

- <個人> 岡本富士太 山岸 伸

## ■(賛助会員)加入のお願い

当、日本芸能マネージメント事業者協会では、法人・個人を問わず、当協会の事業を援助して下さる「賛助会員」を募集しております。

- 入会は、随時受付、年間を通していつでも入会申し込みを承ります。
- 会費は <法人> 1口 30,000円  
<個人> 1口 10,000円  
会員資格は入会から一年間です。
- 会員特典は機関誌「マネ協」等の贈呈、協会の各種イベントの参加入場等々です。

## MOVEMENT REPORT

### <2005年4月>

- 11日 PRE常任幹事会 (PRE)
- // 役員選挙開票 (マネ協)
- 12日 常務会・第4回定例理事会 (マネ協)
- 18日 第13回PREセミナー (恵比寿エコー劇場)
- 25日 常務会 (マネ協)
- 28日 オーディオ [マネ協・日俳連] 実務小委 (日俳連)

### <2005年5月>

- 10日 PRE常任幹事会 (PRE)
- 11日 決算監査 (マネ協)
- // 第5回定例理事会 (マネ協)
- 19日 常務会 (マネ協)
- 20日 オーディオ二者実務小委 (花伝舎)
- 25日 第14回PREセミナー (花伝舎)
- 27日 常務会・第6回定例理事会 (青山荘)
- // 第2回社員総会 (青山荘)

### <2005年6月>

- 6日 PRE常任幹事会 (PRE)
- 14日 常務会・第7回定例理事会 (マネ協)
- 20日 芸団協総会 (芸団協)
- 21日 新潟中越地震義援金の贈呈 (新潟県東京事務所)
- 22日 第15回PREセミナー (花伝舎)
- 23日 マネ協・健康診断 (代々木病院健診課)
- 24日 //

### <2005年7月>

- 5日 TV番組の二次利用を考える委員会 (マネ協)
- 7日 オーディオ三者 [マネ協・日俳連・音声連] 実務小委 (青ニプロ)
- // NHK・三者会議 (青ニプロ)
- 12日 [芸能関連労災問題連絡会] 労災連会議 (音楽ユニオン)
- // 常務会・第8回定例理事会 (マネ協)
- 13日 PRE常任幹事会 (PRE)
- 20日 NTV・マネ協会議 (NTV)
- 21日 PAN [芸術文化振興連絡会] 総会 (花伝舎)
- 26日 オーディオ三者実務小委 (花伝舎)
- 28日 ピアパーティー打ち合わせ (マネ協)
- 29日 第16回PREセミナー (花伝舎)

### <2005年8月>

- 1日 ADK・三者会議 (ADK)
- 3日 マネ協事務局、引越し
- 11日 オーディオ三者実務小委 (花伝舎)
- 26日 ピアパーティー打ち合わせ (マネ協)
- 29日 PRE常任幹事会 (PRE)
- // PRE第5期第2回幹事会 (マネ協)
- // PRE第6期第1回幹事会 (マネ協)

## 「健康診断報告」

6月23～24日の両日に亘り、マネ協会員のマネージャー等社員及び所属俳優を対象とした健康診断を代々木病院健診課にて実施致しました。受診者は27社175名となり、今年もまた多くの方の健康管理に役立てて頂けたと思います。

### \* 編集委員募集中です。

編集スタッフ連名 松田咲實 伊藤信 (事務局)

● <http://www.manekyo.com>

● e-mail: manekyo@manekyo.com

## マネ協新加入事業者の紹介

### (有)ビーボ



〒107-0052  
東京都港区赤坂2-8-11  
第11葵ビル703

TEL: 3585-3311  
FAX: 3585-3365

代表者・社員代表者  
川部 奨  
(芸名: 屋良有作)

### (有)プロ・フィット



〒164-0003  
東京都中野区東中野  
4-3-5-5

TEL: 5338-9105  
FAX: 5338-9107

代表者・社員代表者  
谷村 誠

## 編 集 後 記 VOL.21

今号は理事担務のご紹介と組織図が中心です。法人化を成し遂げたマネ協の舵取りをする方々の抱負をお知らせすることが肝要であり本紙の任務との思いからです。新年会で募金した「中越地震義援金」募金を担当した江崎元理事が贈呈式(写真)に臨み、編集部も同行取材させて貰いました。募金総額は11万足らずのものでしたが、新潟県東京事務所の担当者から謝意が伝えられ、法人化した団体として良い事をした満足感で戻りました。この贈呈式で江崎元理事の任務は完了することになります。江崎理事は正義感の塊のような人で、どのような人にも臆せず率直な意見を述べられる方で、それは見事と言うほかない、立派なものでした。信念に裏打ちされた主張は業界重鎮として、参考になる意見ばかりで、この業界を愛し、発展を願うが故の意見だったり、提案であったため、人を動かすに十分な迫力に満ちたものでした。編集子は個人的にもご指導を戴き面倒を見てもらった関係上江崎理事の退任は残念至極なのですが、その潔さや理事会で駄洒落警報が発令されないで済む議事進行も良いかもしれない。江崎さん大変ご苦労さまでした。早く気の合う茶のみ友達の御婦人でも見つけてください。

編集部・松田咲實



### ★20号の訂正

<7ページ「マネ協・会員事業者リスト」> <8ページ「マネ協新加入事業者の紹介」>ともに、(正)・・・劇団グスタフ [麟オフィスK&K] 19号に掲載した新加入事業者の名称の一部が被っておりました。両社及び関係各位には大変ご迷惑をお掛け致しました。お詫び申し上げます。